

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

No. _____

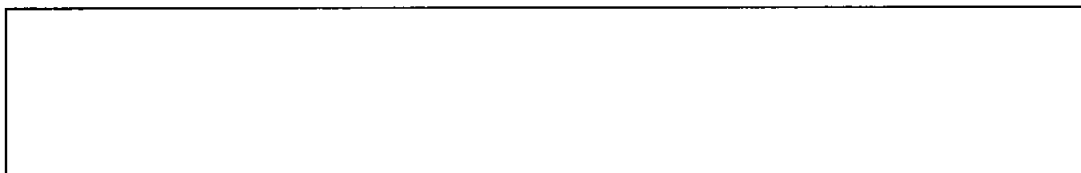
農 薬 抄 録

一般名 アセフェート

「殺 虫 剤」

平成 28 年 11 月 16 日改訂

アリスタ ライフサイエンス株式会社



目	次	頁
I. 開発の経緯	-----	1
II. 物理的・化学的性状	-----	5
III. 生物活性	-----	36
IV. 適用及び使用上の注意	-----	43
V. 残留性及び水質汚濁性	-----	56
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	-----	112
VII. 使用時安全上の注意、解毒法等	-----	127
VIII. 毒性	-----	128
<毒性試験一覧表>	-----	128
1. 原体	-----	136
1-1. 急性毒性	-----	136
1-2. 皮膚及び眼に対する刺激性	-----	153
1-3. 皮膚感作性	-----	157
1-4. 急性神経毒性	-----	164
1-5. 急性遅発性神経毒性	-----	171
1-6. 28日間反復投与遅発性神経毒性	-----	175
1-7. 90日間反復経口投与毒性	-----	176
1-8. 21日間反復経皮投与毒性	-----	190
1-9. 反復経口投与神経毒性	-----	191
1-10. 1年間反復経口投与毒性及び発がん性	-----	199
1-11. 繁殖毒性及び催奇形性	-----	229
1-12. 変異原性	-----	254

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

	頁
1-13. 生体機能への影響 -----	297
1-14. 解毒及び治療 -----	302
1-15. その他 -----	304
2. 原体混在物及び代謝物 -----	346
3. 製剤 -----	384
4. 参考 -----	432
IX. 動植物及び土壌等における代謝分解 -----	443
1. 動物代謝に関する試験 -----	453
2. 植物代謝に関する試験 -----	487
3. 土壌中動態に関する試験 -----	519
4. 水中動態に関する試験 -----	549
5. 土壌吸着性試験 -----	562
6. の代謝試験 -----	564
代謝分解のまとめ -----	571
代謝分解の概要 -----	575

I. 開発の経緯

1. アセフェートは米国のシェブロン・ケミカル社が開発した有機リン系浸透性殺虫剤で世界各地で広く開発及び販売中のものである。

わが国には、1970年に導入され、“Ortho-12420”の試験名で公的試験研究機関での試験が開始された。1971年からは「オルトラン®」の名称で広汎な委託試験が行われ、優れた効果と安全性が確認された。

1973年10月にアセフェート水和剤(50%)及び粒剤(5%)が登録されて以来、主にキャベツ、はくさいなどの葉菜類、きゅうり、なす、トマトなどの果菜類、てんさいやばれいしょなどの鱗翅目害虫や半翅目害虫及び果樹などのアザミウマ類防除になくてはならない薬剤となっている。

また、その安全性と使い易さから家庭園芸用殺虫剤としても広く使用されている。

2. 販売量（原体換算量：トン）

農薬名 \ 年度										
アセフェート水和剤										
アセフェート粒剤										
合計										

3. 諸外国での登録状況及び使用状況

アセフェートは1970年代初期以来世界の約50ヶ国で主に葉菜類、棉花、かんきつ、ばれいしょなどの鱗翅目及び半翅目害虫などに使用されている。

また、アセフェートの主要国（CODEXを含め）での残留許容量は下表の通りである。

国名	品目名	残留許容量(ppm)	国名	品目名	残留許容量(ppm)
米国	豆類	3.0	米国	ピーナッツ	0.2
	芽キャベツ	3.0		ペッパー類	4.0
	カリフラワー	2.0		大豆	1.0
	セルリー	10		牛	(脂肪、肉及び副製品それぞれについて) 0.1
	棉実	0.5		山羊	
	棉実殻	1.0		豚	
	棉実粕	1.0		馬	
	クランベリー	0.5		羊	
	レタス(結球部)	10		家禽	
	ハッカ(葉)	27		鶏卵	0.1
	オランダハッカ	27		牛乳	0.1

国名	品目名	残留許容量 (ppm)	国名	品目名	残留許容量 (ppm)
米国	マカデミアナッツ ^{注)}	0.05	カナダ	豆 類	1.0
オーストラリア	バナナ	1		芽キャベツ	1.5
	アブラナ科野菜	5		キャベツ	0.3
	かんきつ類	5		カリフラワー	2.0
	綿実	2		セルリー	5.0
	レタス(結球部)	10		とうもろこし	0.5
	リーフレタス	10		クラウンベリー	0.5
	マカデミアナッツ	0.1		レタス	1.0
	スイートペッパー	5		コショウ類	2.0
	ばれいしょ	0.5		ばれいしょ	0.5
	大豆(乾燥)	1		サスカトゥーンベリー	0.03
	てんさい	0.1		大豆	0.5
	トマト	5		牛乳	0.05
	キダチトマト	0.5		EU	大豆
	内臓(ほ乳類)	0.2		ハーブ茶(乾燥)(花・葉・根)	0.1
鶏卵	0.2	CODEX	アーティチョーク(球状)	0.3	
肉(ほ乳類、羊を除く)	0.2		豆類(除そらまめ、大豆)	5	
肉(羊)	0.01		クラウンベリー	0.5	
ニュージーランド	アブラナ科野菜		2	大豆(乾燥)	0.3
	かんきつ類		5	ほ乳類可食部	0.05
	果菜類		1	卵	0.01*
	葉菜類		6	ほ乳類肉(海洋ほ乳類以外)	0.05
	ばれいしょ		0.5	牛乳	0.02
	タマリロ		0.5	家禽類脂肪	0.1
				家禽類肉	0.01*
			家禽類可食部	0.01*	

注) 地域限定登録

*は定量限界

一方、アセフェートの JMPR 及び米国での安全性評価は下表の通りである。

	JMPR	米国
ADI (mg/kg 体重/日)	0.03	0.0012
NOAEL (mg/kg 体重/日)	0.25	0.12
安全係数	10	100
設定根拠資料	ヒト 28 日間反復経口 投与試験	ラット 4、9、13 週間 ChE 活性阻害試験
評価年	2005 年	2001 年
ARfD (mg/kg 体重/日)	0.1	0.005
NOAEL (mg/kg 体重/日)	1.2	0.5
安全係数	10	100
設定根拠資料	ヒト単回経口 投与試験	ラット 急性神経毒性 用量設定試験
評価年	2005 年	2001 年

なお、2005 年 JMPR で評価されたアセフェートの各試験のエンドポイントは下表の通りである。

生物種	試験種類	影響	NOAEL	LOAEL
ラット	急性神経毒性	毒性	2.5 mg/kg 体重	5 mg/kg 体重
	反復投与神経毒性	毒性	50 ppm (3.4 mg/kg 体重/日)	100 ppm (6.7 mg/kg 体重/日)
ウサギ	催奇形性	母体毒性	3 mg/kg 体重/日	10 mg/kg 体重/日
		胚-胎児毒性	3 mg/kg 体重/日	10 mg/kg 体重/日
イヌ	52 週間毒性	毒性	10 ppm (0.27 mg/kg 体重/日)	120 ppm (3.1 mg/kg 体重/日)
ヒト	単回投与	毒性	1.2 mg/kg 体重	—
	28 日間投与	毒性	0.25 mg/kg 体重/日	—

また、アセフェートの代謝物である

の JMPR、米国、EU、及び日本での安全性

評価は下記の通りである。

	JMPR	EU	米国	食品安全委員会

生物種	試験種類	影響	NOAEL	LOAEL

II. 物理的・化学的性状

1. 名称及び化学構造

(1) 有効成分の一般名

アセフェート、acephate (ISO 名)

(2) 別 名

商品名：オルトラン、ORTHENE

試験名：RE 12420、Ortho 12420

(3) 化学名

MAFF 名：

O, S-ジメチル-N-アセチルホスホロアミドチオエート

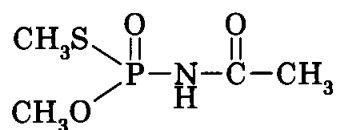
O, S-dimethyl-N-acetylphosphoramidothioate

IUPAC 名、CAS 名：

O, S-dimethyl acetylphosphoramidothioate

O, S-ジメチル-N-アセチルホスホロアミドチオエート

(4) 構造式



(5) 分子式

$\text{C}_4\text{H}_{10}\text{NO}_3\text{PS}$

(6) 分子量

183.17

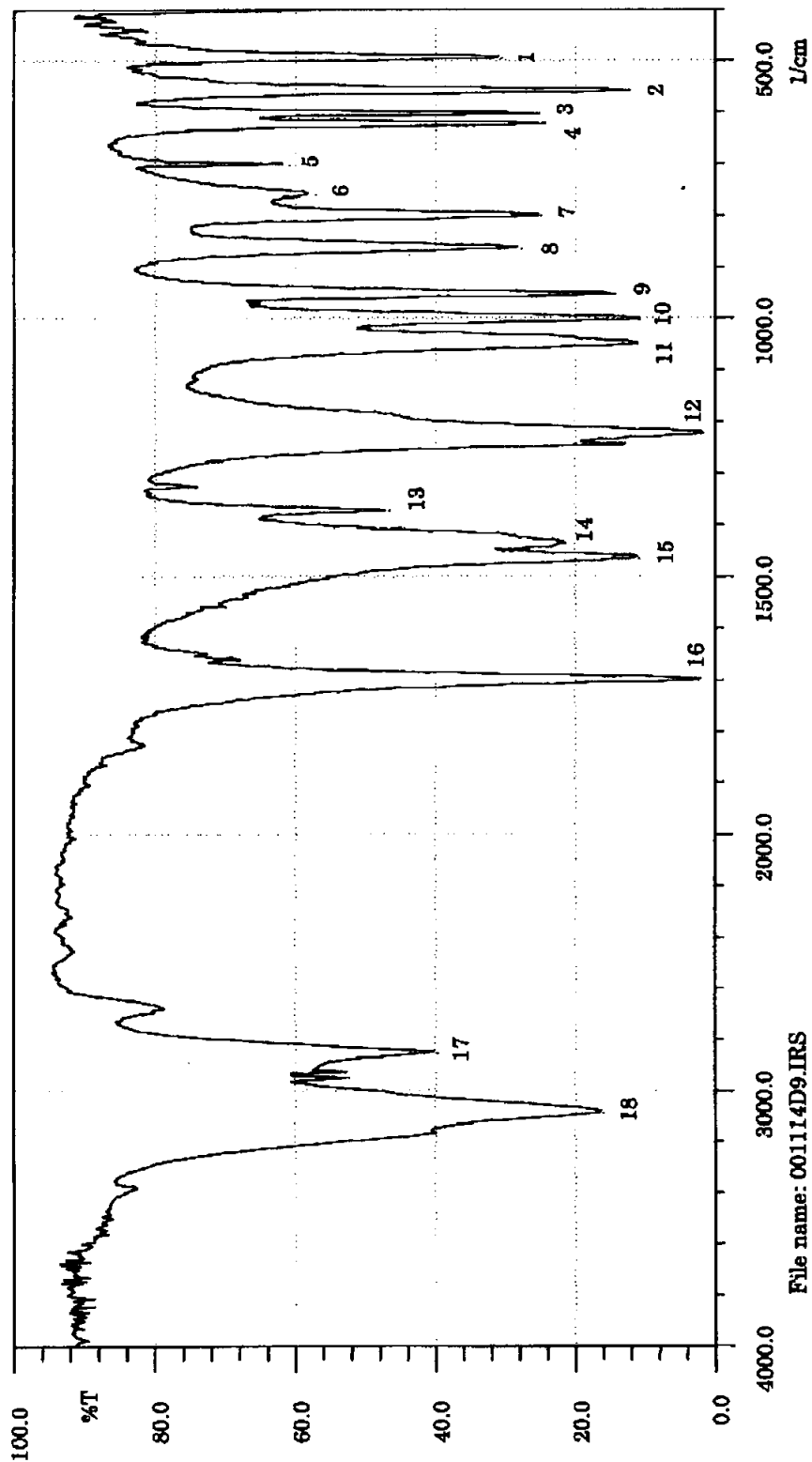
(7) CAS No.

30560-19-1

2. 有効成分の物理的・化学的性質

項目	測定値(測定条件)	測定方法	試験機関 (報告年)	
色調	白色 (N9.5)	官能検査 9 農産第 5089 号	(2000 年 GLP)	
形状	固体(微粉末)			
臭気	酢酸臭(微臭)			
密度	1.221g/cm ³ (20℃)	比重びん法 9 農産第 5089 号	(2001 年 GLP)	
融点	86.9~91.0℃	キャピラリー法 EPA-GL63-5	(1987 年)	
沸点	150.1℃	Siwoloboff 法 OECD 103	(2000 年 GLP)	
蒸気圧	3.99×10 ⁻⁵ Pa(25℃)	ガス飽和法 EPA-GL63-11	(1988 年)	
解離定数(pKa)	8.35(20℃)	滴定法 OECD 112	(1987 年)	
溶解性	水	>1000 g/L(20℃)	(2001 年 GLP)	
	有機溶媒	ヘキサン		23.9 mg/L(20℃)
		キシレン		2.52 g/L(20℃)
		ジクロロメタン		> 250 g/L(20℃)
		アセトン		132 g/L(20℃)
		メタノール		> 250 g/L(20℃)
		酢酸エチル		33.8 g/L(20℃)
オクタノール/水 分配係数(log Pow)	-0.90	フラスコ振とう法 EPA-GL63-11	(1987 年)	
生物濃縮性	オクタノール/水分配係数が 3.5 未満であることから試験省略			
土壌吸着係数 (K _F ^{ads} , K _F ^{ads oc})	K _F ^{ads} =0.906~1.05, K _F ^{ads oc} =25.1~138 (25℃)	9 農産第 5089 号 OECD 106	(1990 年)	
加水分解性	半減期(25℃): 325 日(pH5)、 169 日(pH7)、18 日(pH9)	EPA-GL-161-1	(1988 年 GLP)	
水中 光分解性	緩衝液(滅菌)	半減期(自然光照射 pH7、25℃、 光強度: 最大約 300W/m ² 、その測定 波長範囲: 約 400nm): 173 日(感光剤非存在下) 31 日(感光剤存在下)	EPA-GL161-2 (1988 年 GLP)	
	自然水	半減期(平均照度: 49.7W/m ² 、その 測定波長範囲: 300~400nm、 25℃): 44.8 日(人工光照射) 105 日(暗条件)	9 農産第 5089 号 (2000 年 GLP)	
安定性	対熱	化学転移 94℃、分解 192℃	DTA/TGA 法 OECD 113 (2000 年 GLP)	
	その他	安定: 太陽光 30 日、99.8%	EPA-GL63-13 (1987 年)	
スペクトル	IR、MASS、NMR、UV (スペクトラムは次頁以降に掲載)	IR、UV: 9 農産第 5089 号 MASS、NMR: 12 農産第 8147 号	(IR 2000 年 GLP) (MASS、UV 2001 年 GLP) (NMR 2000 年 GLP)	

IR スペクトラム



FT-IR spectrum of Acephate in KBr tablet

測定条件

測定モード：	透過率モード (%T)
波数範囲：	4000~400 cm^{-1}
積算回数：	20 回
アポダイズ関数：	Happ-Genzel 関数
分解：	4 cm^{-1}
検出器オープン温度：	標準
スキャンスピード：	2.8mm/秒
アップゲイン：	AUTO
光束：	AUTO

ピーク検出結果

No.	位置 (cm^{-1})	強度	特徴的な吸収帯
1	495.7	31.22	
2	559.3	12.42	
3	605.6	25.70	
4	624.9	24.64	
5	702.0	62.05	
6	759.9	58.30	
7	798.5	25.51	
8	864.1	28.29	
9	954.7	14.56	
10	1002.9	11.03	
11	1049.2	11.39	
12	1224.7	1.94	
13	1373.2	47.41	
14	1433.0	21.77	
15	1463.9	11.21	
16	1699.2	2.22	カルボニル基 (C=O)
17	2854.5	40.52	
18	3087.8	16.46	アミド基 (N-H)

MASS スペクトラム

Mass spectrum of Acephate

m/z	Relative abundance ¹⁾ (%)	m/z	Relative abundance ¹⁾ (%)	m/z	Relative abundance ¹⁾ (%)	m/z	Relative abundance ¹⁾ (%)
56.00	0.8	79.90	5.0	112.00	2.2	182.95	2.8
57.95	2.6	80.90	0.8	120.00	1.7		
59.95	0.9	88.95	0.8	121.00	0.8		
61.05	1.0	89.95	0.9	124.90	12.3		
61.95	4.0	94.00	52.1	125.75	0.9		
63.05	1.6	95.00	31.2	126.95	1.7		
63.95	9.9	96.00	23.3	136.00	100.0		
65.00	2.9	97.00	0.9	137.00	4.9		
65.90	1.3	106.00	0.7	141.95	10.1		
77.95	1.1	110.00	1.9	142.95	1.1		
79.00	11.0	111.00	1.4	167.85	1.0		

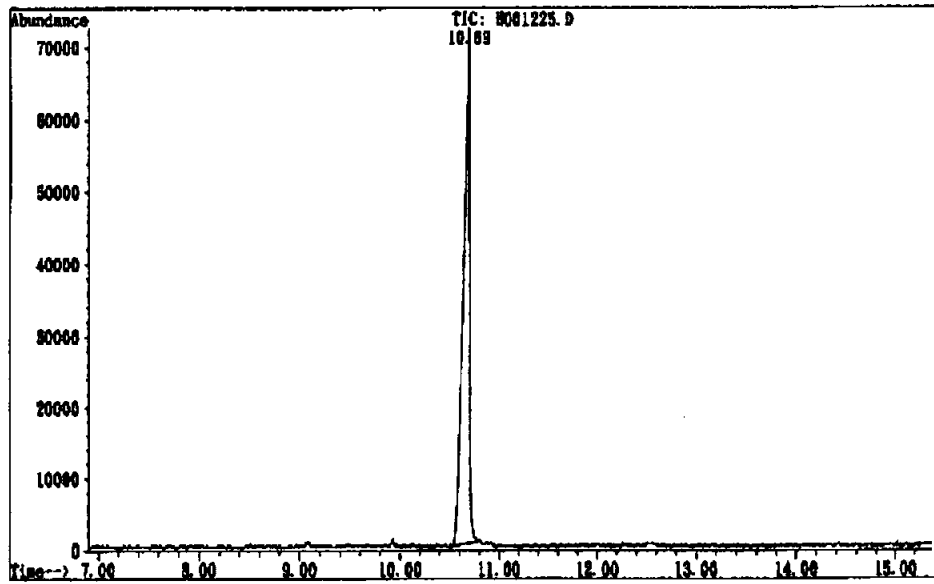
¹⁾ Relative abundance of each ion to the base peak ion (m/z 136.00)

質量分析計操作条件

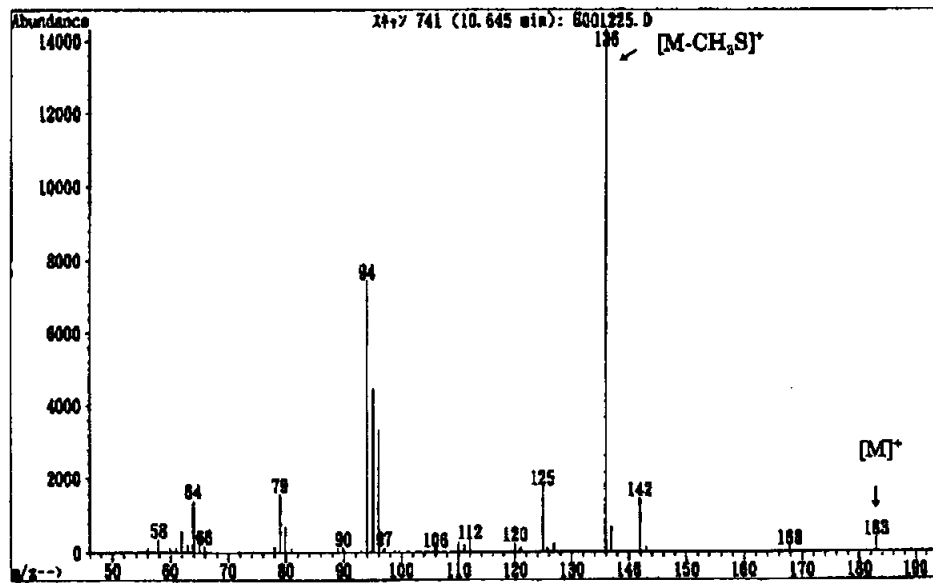
イオン化方式： EI 法（電子衝撃法）
 測定モード： SCAN
 測定質量範囲： m/z 50~400
 インターフェイス温度： 280°C
 イオン化電圧： 70 eV
 スキャンスピード： 2.0 scan/sec

Total-ion chromatogram of acephate

ファイル名 : C:\VBPCHEN\YIDAT\YB001225.D
オペレータ : O. Eymahli
測定時刻 : 25 Dec 106 2:45 pm using AcqMethod MAYASHI1
検量器 : 5971 - 検
物質名 : Acephate
一般情報 :
実行番号 : 1

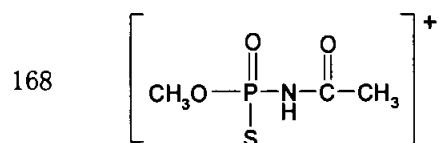
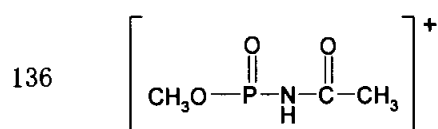
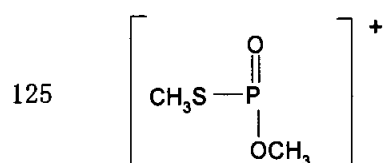
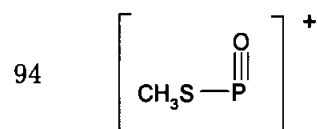


Mass spectrum of acephate



マススペクトルにおけるイオンの帰属

m/z	帰属
183	M ⁺



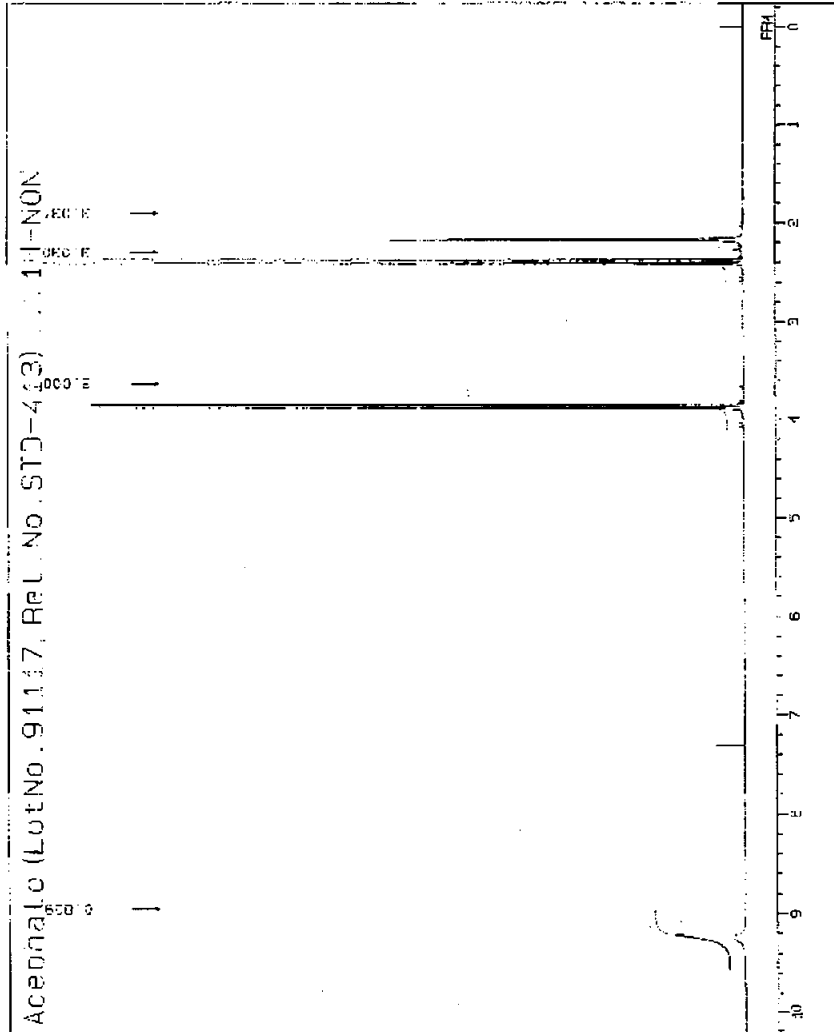
¹H-NMR スペクトラム

18-DEC-00 16:03:14
 DPFILE SAYING
 EXACTD 59.91N
 ORBLC 4H
 Q99.65 MHz
 Q99.65 MHz
 13700.0 Hz
 32709
 7092.8 Hz
 SCANS 0
 ACQTIM 2.040 SEC
 PD 3.600 SEC
 ELO 06
 TM1
 TRMPC 4H
 TRMPC 0
 50 US
 23.0 C
 SOLVHT CHL3
 EXREF 0.00 ppm
 RGAIN 1.5
 XE 4.921060 117
 XD 211.9589 Hz

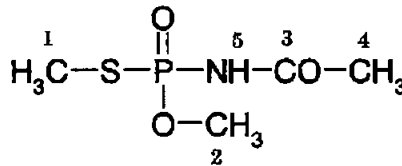
JEL 488 977 (4.74)

Proton 00-197

10/10/00 P.T



メチルホスoramidateの¹H-NMRスペクトル



¹H-NMRスペクトルの帰属

水素No.	:	ケミカルシフト (ppm)	多重度	水素数
H ₁	:	2.39	d	3
H ₂	:	3.87	d	3
H ₃	:	2.17	s	3
H ₄	:	9.24	b	1

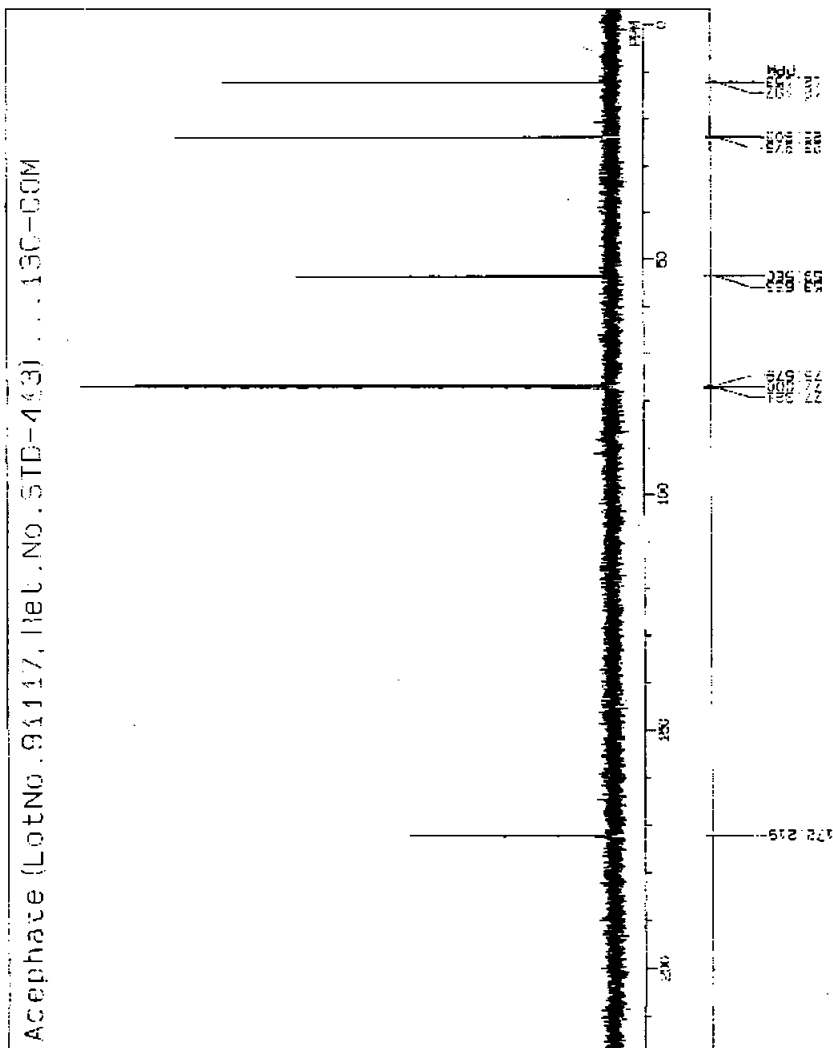
多重度略号一覧

s: singlet
 d: doublet
 b: broad

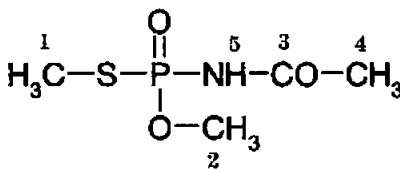
¹³C-NMR スペクトラム

10-DEC-00 16:10:53
 Q-FILE SAVING:
 EXMUG 500CM
 QMNUJ 43C
 CDPRQ 130.40 MHz
 CDECT 135.00 kHz
 QMFIN 10344.0 Hz
 PULPR 32760
 FREQW 64030.5 Hz
 SCANS 512
 ACQTH 0.182 Sec
 TV 0.050 Sec
 PV 5.0 HG
 TRMJC 1H 40
 IRRIN 50 US
 IRRW 24.0 L
 S-WR CUCL2
 EXREF 77.00 PPM
 IRRIN 40
 SE 22307.4100 Hz
 XS -315.5274 Hz

JFOL 65x40x (4.34)
 Revol No. 00-197
 12/10/00 JET



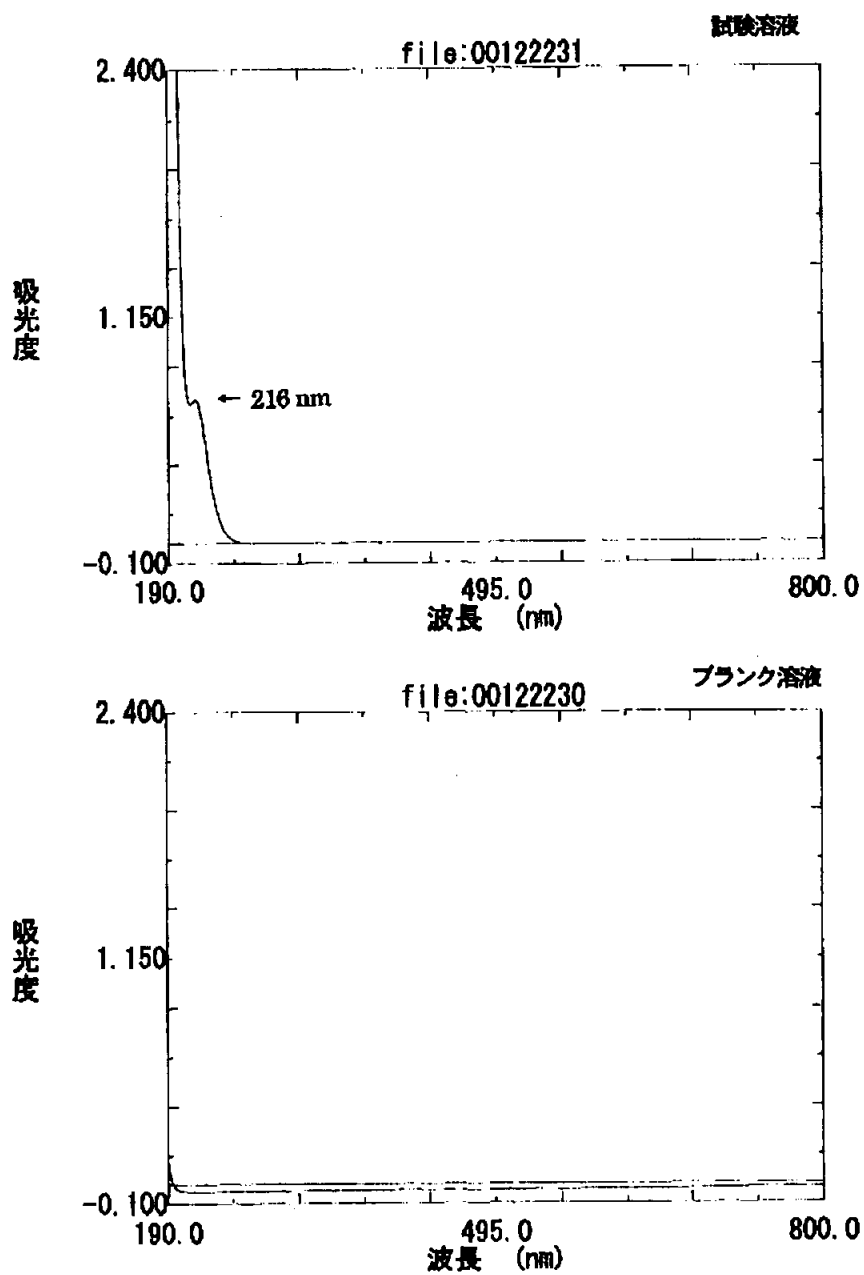
アセフェートの¹³C-NMRスペクトル



¹³C-NMR スペクトルの帰属

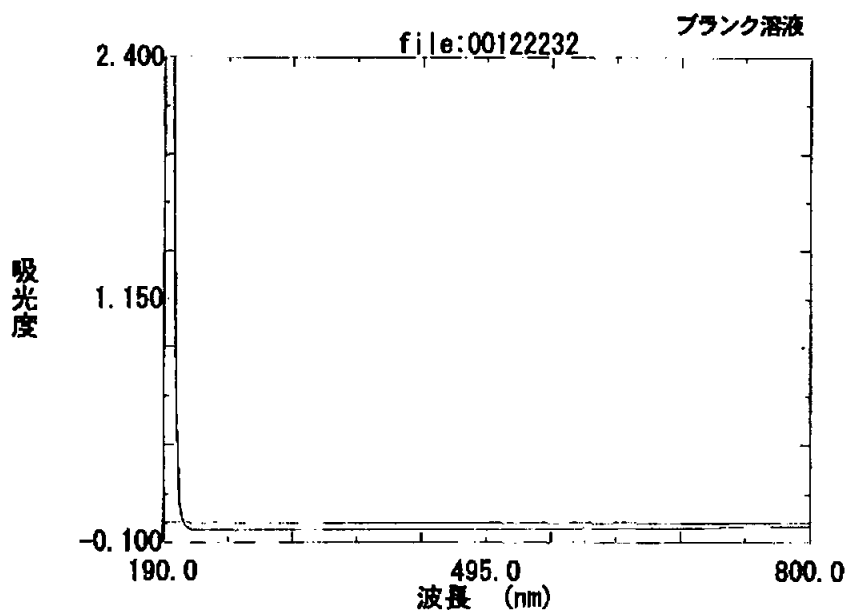
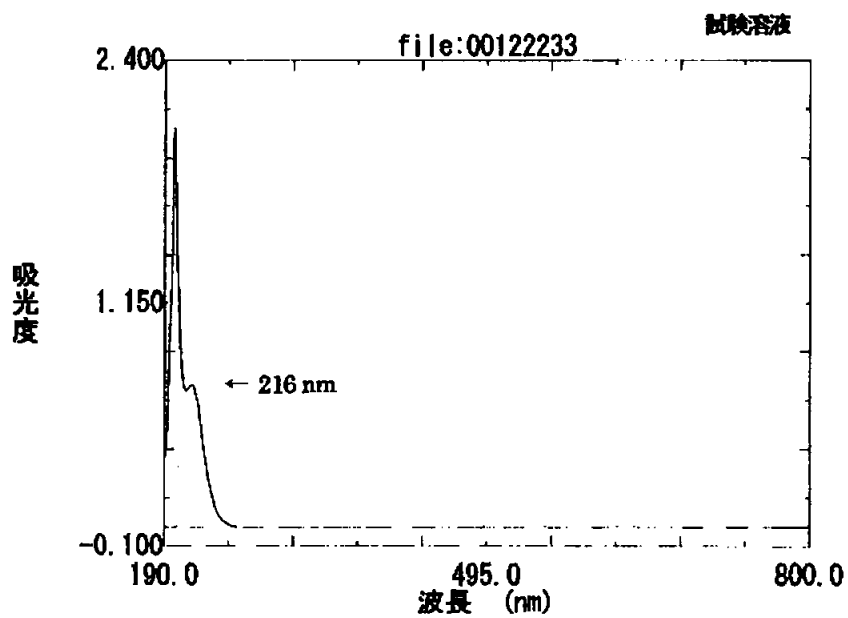
炭素 No.	:	ケミカルシフト (ppm)
C ₁	:	12.153, 12.197
C ₂	:	53.560, 53.633
C ₃	:	172.219
C ₄	:	23.903, 23.976

UV スペクトラム (1)



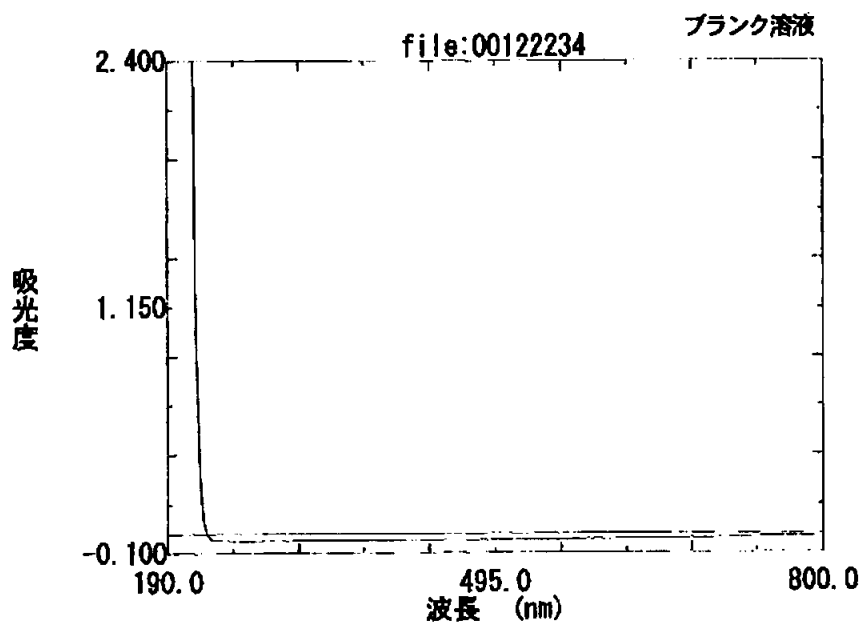
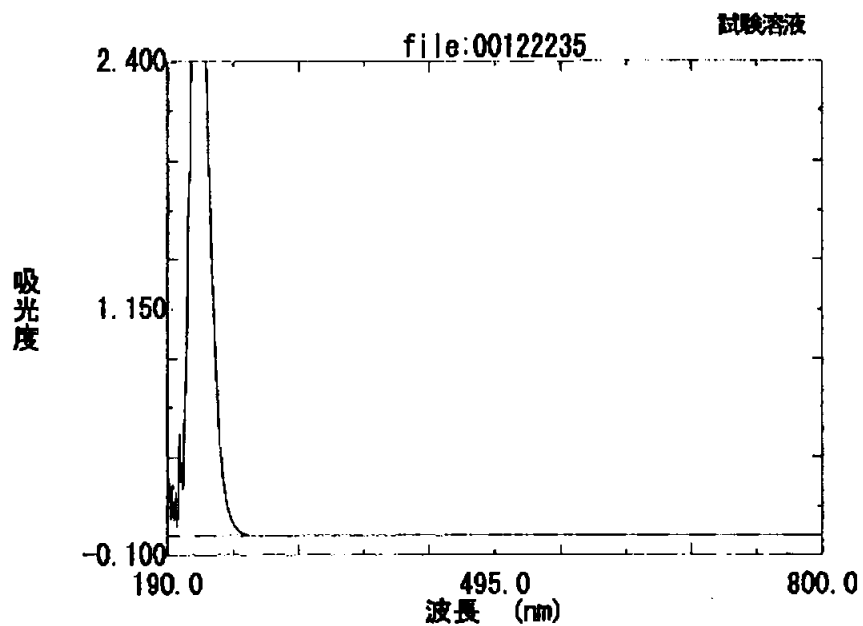
アセフェートの水溶液 (中性条件) 試験溶液の紫外/可視吸収スペクトル (200 mg/L 濃度)

UV スペクトラム (2)



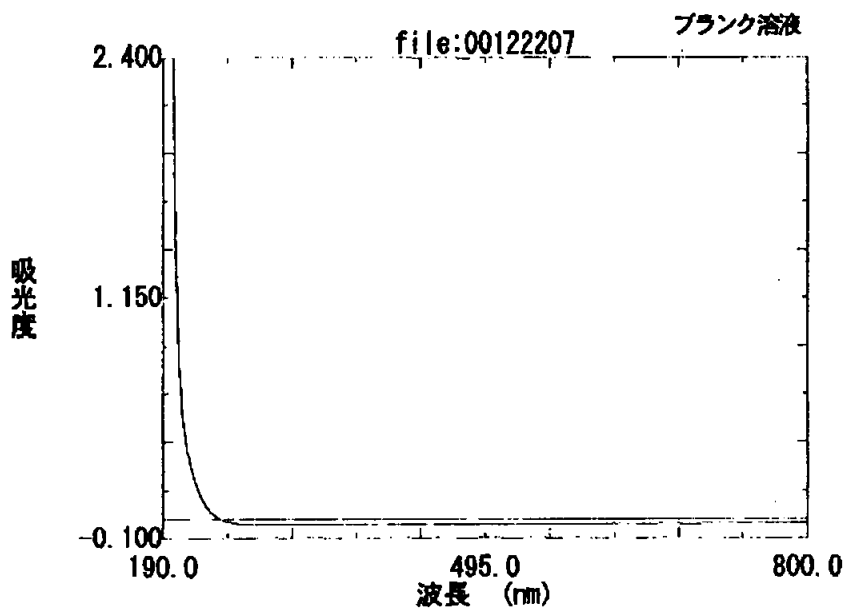
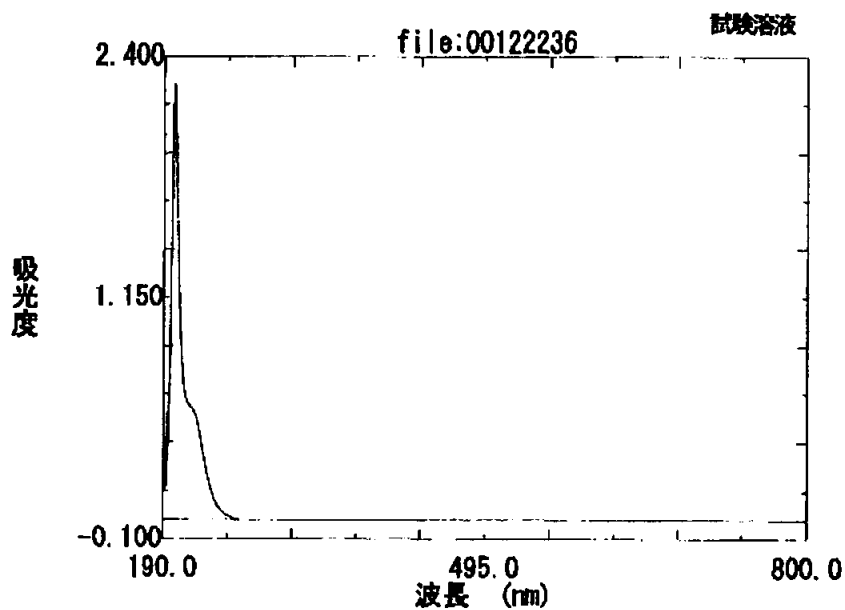
アセフェートの酸性条件試験溶液の紫外/可視吸収スペクトル (200 mg/L 濃度)

UV スペクトラム (3)



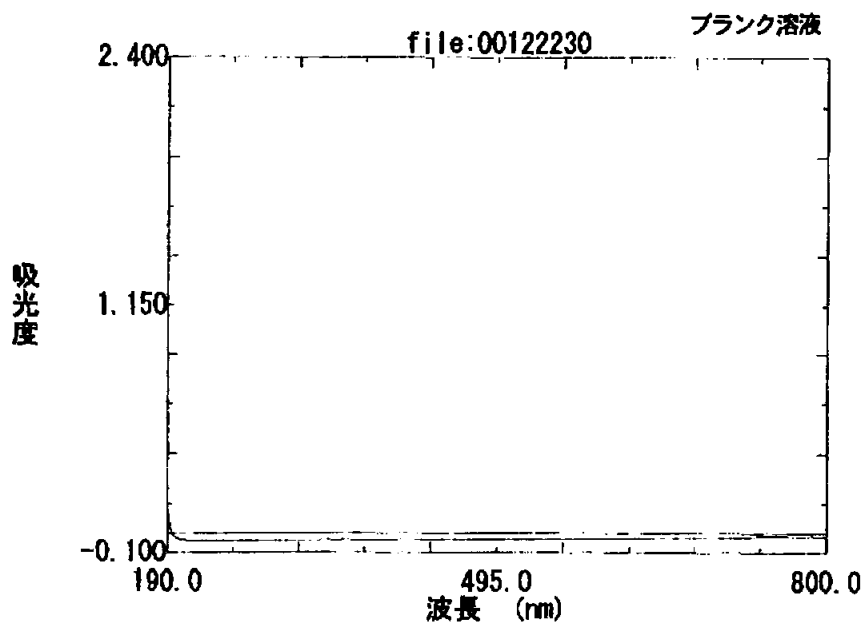
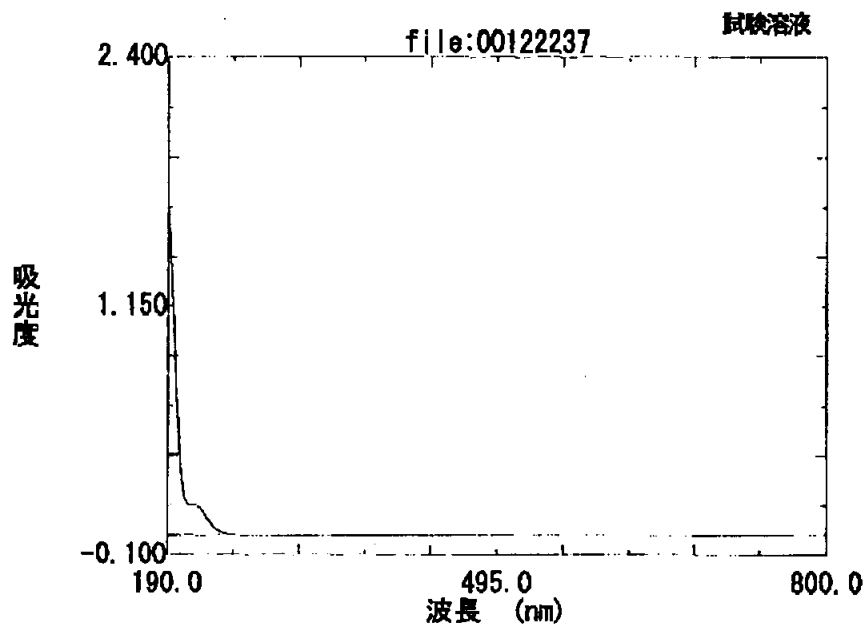
アセフェートのアルカリ性条件試験溶液の紫外/可視吸収スペクトル (200 mg/L 濃度)

UV スペクトラム (4)



アセフェートのメタノール試験溶液の紫外/可視吸収スペクトル (200 mg/l 濃度)

UV スペクトラム (5)



アセフェートの水溶液試験溶液の紫外/可視吸収スペクトル (40 mg/L 濃度)

紫外／可視分光光度計の操作条件

光源：	ハロゲンランプ及びキセノンランプ
操作波長範囲：	190～800 nm
スキャン速度：	約 154 nm/min (低速モード)
スリット幅：	2.0 nm
サンプリングピッチ：	0.5 nm
試料セル：	石英製長方セル (光路長 10 mm)

アセフェートの紫外／可視吸収スペクトル

試験溶液	pH	濃度 (mol/L)	極大吸収波長 (nm)	吸光度 (A)	モル吸光係数 (log ε) ^{注)}
水	6.75	1.09×10^{-3}	216	0.730	2.83
	1.19	1.09×10^{-3}	216	0.729	2.82
	13.11	1.09×10^{-3}	—	—	—
メタノール	7.69	1.09×10^{-3}	—	—	—
希釈水	—	2.18×10^{-4}	—	—	—

注) モル吸光係数 (ε)

$$\epsilon = A / C \times d$$

A : 試料溶液の極大吸収波長における吸光度

C : 試料溶液の濃度 (mol/L)

d : セル長 (cm)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

(参考) の物理的・化学的性状

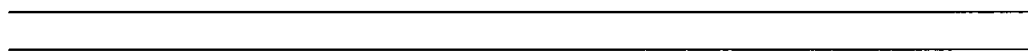
本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

項 目		測 定 値	試験機関 (報告年)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

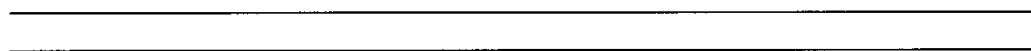
本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

3. 原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値 または レンジ
有効成分	アセフェート	0, S-ジメチル-N-アセチルホスホアミドチオエート		$C_4H_{10}NO_3PS$	183.2		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値 または レンジ

4. 製剤の組成

1) 97%剤 (カプセル)	
アセフェート	97.0%
水分等	3.0%
2) 50%水和剤	
アセフェート	50.0%
鉍物質粉末等	50.0%
3) 15%液剤	
アセフェート	15.0%
有機溶剤、界面活性剤等	85.0%
4) 10%乳剤	
アセフェート	10.0%
有機溶剤、界面活性剤等	90.0%
5) 5%粒剤	
アセフェート	5.0%
鉍物質粉末等	95.0%
6) 2.5%粒剤	
アセフェート	2.5%
クロチアニジン	0.25%
鉍物質微粉等	97.25%

Ⅲ. 生物活性

1. 活性の範囲

アセフェートの殺虫スペクトルは半翅目、鱗翅目、アザミウマ目等多岐に渡り、野菜、果樹、茶、花き場面での総合害虫防除剤として広く認知されている（次頁以降参照）。

2. 作用機構

アセフェートは有機リン系に分類される浸透性殺虫剤であり、同系統他剤と同様にコリンエステラーゼを阻害することにより殺虫効果を発揮する。主に経口的に昆虫体内に取り込まれることにより効果が発現する。

3. 作用特性と防除上の利点等

アセフェートは、ガス効果は全く無いが、その優れた浸透移行性、浸達性により、葉裏などに潜み薬剤と接触する機会の少ない害虫の防除も可能である。

また、粒剤では根から吸収するものが殆どであるが、本剤は根からだけでなく、葉からも吸収されるため、この特性が土壌処理はもちろんトップドレッシングをも可能にした。現在でもトップドレッシング可能な粒剤は数少ない。

昆 虫 綱(Insecta)

目 名	科 名	害 虫 名	効 果	
			水和剤 散 布	粒剤土 壌処理
チョウ目 (Lepidoptera)	ヤガ科	ヨトウガ(ヨトウムシ)	○	○
		ハスモンヨトウ	○	○
		タバコガ(タバコアオムシ)	○	○
		カブラヤガ(ネキリムシ)		○
		タマナギンウワバ	○	○
		スジキリヨトウ	○	○
	ツトガ科	ハイマダラノメイガ(シクムシ)	○	○
		アワノメイガ	○	
		フキノメイガ	○	
		ワタヘリクロノメイガ(ワタハゲ)		○
		ニカメイガ(ニカメイチュウ)	△	
		シバツトガ	○	△
	メイガ科	シロイチモジマダラメイガ	○	
	スガ科	コナガ	○	○
	アトヒゲコガ科	ネギコガ(ネギコナガ)		○
	ハマキガ科	コカクモンハマキ	○	
		アトボシハマキ	○	
	ドクガ科	チャドクガ	○	
		マイマイガ	○	
	キバガ科	ジャガイモガ	○	○
		イモコガ	○	
ミノガ科	オオミノガ	○		
ヒトリガ科	アメリカシロヒトリ	○		
ホソガ科	チャノホソガ	△		
コハモグリガ科	ミカンハモグリガ	△		

目名	科名	害虫名	効果	
			水和剤 散布	粒剤土 壌処理
チョウ目 (Lepidoptera)	ハマキガ科	ナシヒメシンクイ	△	
		マメシンクイガ	△	
		イグサシムシガ		○
	シンクイガ科	モモシンクイガ	○	
	カレハガ科	オビカレハ	○	
	シャチホコガ科	モンクロシャチホコ	○	
	シャクガ科	ヨモギエダシャク	○	
		ユウマダラエダシャク	○	
	シロチョウ科	モンシロチョウ(アオムシ)	○	○
	アゲハチョウ科	キアゲハ	○	○
シジミチョウ科	ウラナミシジミ	○		
ハエ目 (Diptera)	ハナバエ科	タネバエ		○
		テンサイモグリハナバエ	○	
		タマネギバエ		×
		ダイコンバエ		×
	ハモグリバエ科	ナスハモグリバエ		○
		ネギハモグリバエ		○
		ヨメナスジハモグリバエ	○	
キモグリバエ科	イネキモグリバエ(イネハエ)	×		
コウチュウ目 (Coleoptera)	テントウムシ科	ニジュウホシテントウムシ(テントウムシダマシ)	○	
		オオニジュウホシテントウムシ(テントウムシダマシ)	○	
	ハムシ科	ダイコンサルハムシ	○	
		キスジノミハムシ	○	△~×
		キイチゴトビハムシ	○	
		テンサイトビハムシ	○	
		ウリハムシ(ウリバエ)	○	○
		イネクビホソハムシ(イネハムシ)	△	

目 名	科 名	害 虫 名	効 果	
			水和剤 散 布	粒剤土 壌処理
コウチュウ目 (Coleoptera)	コガネムシ科	ドウガネブイブイ	○	
		アカビロウドコガネ		△
		セマダラコガネ		○
	コメツキムシ科	マルクビクシコメツキ		○
	ゾウムシ科	ヤサイゾウムシ	○	○
		サビヒョウタンゾウムシ		△
	ケシキスイ科	ヒメヒラタケシキスイ	○	
カミキリムシ科	マツノマダラカミキリ	△		
ハチ目 (Hymenoptera)	ハバチ科	カブラハバチ	○	
カメムシ目 (Hemiptera)	アブラムシ科 (アブラムシ類)	モモアカアブラムシ	○	○
		ワタアブラムシ	○	○
		ダイコンアブラムシ	○	○
		ニセダイコンアブラムシ	○	○
		ネギアブラムシ	○	○
		ニンジンアブラムシ	○	○
		ジャガイモヒゲナガアブラムシ	○	○
		キクヒメヒゲナガアブラムシ	○	○
		バラヒゲナガアブラムシ	○	○
		ミカンクロアブラムシ	○	
		ユキヤナギアブラムシ	○	
		コミカンアブラムシ	○	
		モミジニタイケアブラムシ	○	
		キビクビレアブラムシ		○
		ヨコバイ科	チャノミドリヒメヨコバイ	○
	フタテンヒメヨコバイ		○	
	スズキヒメヨコバイ		○	

目 名	科 名	害 虫 名	効 果	
			水和剤 散 布	粒剤土 壌処理
カメムシ目 (Hemiptera)	ヨコバイ科	ツマグロヨコバイ	○	
		ゴボウノミドリヒメヨコバイ	○	
	グンバイムシ科	ツツジグンバイ	○	
	ウンカ科	トビイロウンカ	○	
		ヒメトビウンカ	○	
		セジロウンカ	○	
	コナジラミ科	ミカントゲコナジラミ	○	
		オンシツコナジラミ		○
	カメムシ科	トゲシラホシカメムシ	△	
		シラホシカメムシ	△	
		ミナミアオカメムシ	△	
	ナガカメムシ科	コバネヒョウタンナガカメムシ	△	
		カンシャコバネナガカメムシ	×	
	カスミカメムシ科	アカヒゲホソミドリカスミガメ	○	
		ナガムギメクラガメ	○	
	ホソヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ	△	
		クモヘリカメムシ	△	
	セミ科	イワサキクサゼミ		×
	カタカイガラムシ科	ツノロウムシ	○	
		ルビーロウムシ	○	
カメノコロウムシ		○		
コナカイガラムシ科	クワコナカイガラムシ	△		
	フジコナカイガラムシ	○		
	マツコナカイガラムシ	○		
マカカイガラムシ科	ヤノネカイガラムシ	○		
	サンホーゼカイガラムシ	△		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある

目 名	科 名	害 虫 名	効 果	
			水和剤 散 布	粒剤土 壌処理
総翅目 (Thysanoptera)	アザミウマ科	チャノキイロアザミウマ	○	
		ネギアザミウマ	○	○
		ハナアザミウマ	○	
		グラジオラスアザミウマ	○	○
	クダアザミウマ科	カキクダアザミウマ	○	

申請者注： ○；効果十分
 △；効果あるが不十分
 ×；効果なし

蜘蛛形綱(Arachnida)

目名	科名	害虫名	効果	
			水和剤 散布	粒剤土 壌処理
ダニ目 (Acarina)	コナダニ科	ネダニ		○
	ハダニ科	ナミハダニ	△～×	
		カンザワハダニ	△～×	
		ミカンハダニ	△～×	
	フシダニ科	ミカンサビダニ	△	
ホコリダニ科	チャノホコリダニ		×	

申請者注： ○；効果十分
 △；効果あるが不十分
 ×；効果なし

IV. 適用及び使用上の注意

1. 97%剤（カプセル）

(1) 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
樹木類 (プラタナス、 にれ、くろまつ、 あかまつ、ゆり のきを除く)	ケムシ類	幹周囲 10cm 毎に 1個	発生期直前	2回以内	樹幹 打ち込み	5回以内
プラタナス	ケムシ類 プラタナスグンバイ					
にれ	アブラムシ類 ケムシ類					
くろまつ あかまつ	マルカハ ケムシ類					
ゆりのき	アブラムシ類 ケムシ類					

(2) 使用上の注意事項

- ①必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきること。
- ②本剤は害虫の種類によっては発生前に処理しないと効果が劣るので、例年の発生状況を考慮し、発生前に処理を行なうこと。
- ③地上 15cm の幹周囲に 10cm 間隔で穴を空けること。ただし、空けられない場合は上下にずらしても問題ない。
- ④処理樹に打ち込み後のカートリッジの後部面が、外皮のすぐ内側に位置するように穴を空けること。
- ⑤薬剤を打ち込むために空けた穴からヤニが流出することがあるので注意すること。
- ⑥高温・乾燥時には葉害を生じる場合があるので使用を避けること。
- ⑦薬剤を包んでいるカプセルは水溶性なので、降雨時の作業は避けること。
- ⑧樹勢の弱った木、悪条件下に植栽された木、極端な老木への使用は避けること。
- ⑨地上 15cm の幹周が 10cm 未満の小径木や、移植後間もない木への使用は避けること。

(3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

2. 50%水和剤

(1) 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを 含む農薬の 総使用回数																								
キャベツ	ヨウムシ、ハスモンヨウ タナキ、ソウハ	1000～1500 倍	100～300 L/10a	収穫 30 日 前まで	1 回	散布	2 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内、 定植後の散布は 1 回以内)																								
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1000～2000 倍					1 回																								
はくさい	カブラハバチ、ヨウムシ ハスモンヨウ	1500 倍					100～300 L/10a	収穫 30 日 前まで	3 回以内	散布	1 回																				
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1500～2000 倍									1 回																				
レタス	ヨウムシ	1000～1500 倍									100～300 L/10a	収穫 30 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内																
	アザミウマ類 アブラムシ類 オオタバコガ	1000 倍													3 回以内																
非結球レタス	ヨウムシ	1000～1500 倍													100～300 L/10a	収穫 30 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内												
	アザミウマ類 アブラムシ類 オオタバコガ	1000 倍																	3 回以内												
カリフラワー	ヨウムシ	1000～1500 倍																	100～300 L/10a	収穫 14 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内								
非結球 あぶらな科葉菜類 (ケール、からしな、 みずな、ルッコラ、 たかなを 除く)	アブラムシ類	1500 倍																					100～300 L/10a	収穫 21 日 前まで	1 回	散布	1 回				
	しょうが	アワメガ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 45 日 前まで	1 回																					2 回以内				
ごぼう	アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a																								収穫 45 日 前まで	1 回	散布	2 回以内 (株元散布は 1 回以内、散布 は 1 回以内)	
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000 倍					100～300 L/10a	収穫開始 7 日前まで	1 回	散布																				1 回	
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨウムシ	300 倍																												100～300 L/10a	収穫 30 日 前まで
	アブラムシ類、ジャガイモガ	300 倍									2 回以内																				
てんさい	ヨウムシ テンサイモグリハナハエ トビハムシ類	1000～1500 倍									100～300 L/10a	収穫 45 日 前まで	3 回以内	無人ヘリコ プターによる 散布 散布																	
	ヨウムシ	16 倍													3 回以内																
	ヨウムシ	300 倍													3 回以内																
	トビハムシ類	60～100 倍													3 回以内																
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	1000 倍									100～300 L/10a	収穫 7 日 前まで	2 回以内	散布	2 回以内																
あずき	アズキノメイガ、アブラムシ類 ヨウムシ	1000 倍		収穫 14 日 前まで	3 回以内	3 回以内																									

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
だいず	ハスモンヨウ、マメシクイガ アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 60 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内	
	アブラムシ類	16 倍	1.6L/10a					無人ヘリコ プターによる 散布
えだまめ	ハスモンヨウ アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 21 日 前まで		散布		3 回以内
いんげんまめ	アブラムシ類 インゲンマメノウムシ			収穫 14 日 前まで				
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000～1500 倍	25L/10a	収穫 21 日 前まで	5 回以内	無人ヘリコ プターによる 散布	5 回以内	
		300 倍						
		16 倍	1.6L/10a					
にんにく	ネギコガ アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日 前まで	2 回以内	散布	2 回以内	
ぶどう(串)	チャノキアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～2000 倍	200～700 L/10a	収穫 60 日 前まで	1 回		1 回	
	ハマキムシ類	1500 倍		収穫 45 日 前まで	2 回以内		2 回以内	
かき	カキクダアザミウマ チャノキアザミウマ カキノハタムシガ アシノコカイガラムシ		2000 倍					2 回以内
いちじく	アザミウマ類	200～400 L/10a		摘採 45 日 前まで	1 回		1 回	
茶	チャノキアザミウマ チャノハトリヒメヨコバイ		1000～2000 倍					1000～1500 倍
	さんしょう (果実)	チャノキアザミウマ	1500 倍	1500 倍	1500 倍		1500 倍	
だいおう	ヨトウムシ	1000 倍	100～300 L/10a	生育期 但し、 収穫 230 日 前まで	3 回以内		散布	3 回以内
みしまさいこ	アブラムシ類	1500 倍		収穫 30 日 前まで				
薬用にんじん			アブラムシ類	1500 倍	収穫 180 日 前まで		5 回以内	5 回以内
ソルガム	アブラムシ類	1500 倍			収穫 30 日 前まで	3 回以内	3 回以内	
やまのいも			ヤマノイモガ アブラムシ類	1000 倍	収穫 45 日 前まで	1 回	1 回	
葉しょうが	アワノメイガ	1500～2500 倍	25～180 L/10a	収穫 21 日 前まで	2 回以内	2 回以内		
たばこ	ヨトウムシ、タバコアオムシ アブラムシ類			1500～2500 倍			25～180 L/10a	収穫 10 日 前まで
	ヤシゾウムシ			1000～2000 倍			1L/m ²	苗床期
	ジャコイガ若齢幼虫 ジャコイガ中齢幼虫	1500～2000 倍	25～180 L/10a	収穫 10 日 前まで				

注)：ぶどうについて登録内容の変更申請予定

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
つつじ類	ツツジグンバイ	1500 倍	200～700 L/10a	発生初期	5 回以内	散布	5 回以内
つばき類	チャドクガ						
さくら	モンクロシヤチホコ	1000～1500 倍					
	アメリカシロヒトリ	1500～2000 倍					
花き類・観葉植物	アザミマ類、アブラムシ類	1000～1500 倍	100～300 L/10a				
	アオムシ、ヨトウムシ類						
きく	マメハゲグリハエ オオタバコガ						
ストック	コナガ、ハイマダラノメイガ						
宿根アスター	ヨメナスジハモグリハエ						
オンシジウム	カイガラムシ類						
カーネーション	コナガ						
ひまわり	タバコガ						
斑入りアマドコロ リアトリス	ハマキムシ類						
樹木類	アザミマ類			200～700 L/10a			
グラジオラス				—	植付時	1 回	10 分間 球根 浸漬
芝	シハツトガ タナキガ			0.25～2L/m ²	発生初期	5 回以内	散布
	スジキリヨトウ クラ	1～2L/m ²					
	シハオサゾウムシ成虫	2L/m ²					
	アカフツツリガ	0.5～1L/m ²					
もりあざみ	アブラムシ類	1500 倍	100～300 L/10a	収穫 45 日 前まで	1 回	1 回	
まめ科牧草		1000 倍			3 回以内	3 回以内	

(2) 使用上の注意事項

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 2) 水性内袋入りの製剤を使用する場合は、次の事項に注意すること。
 - ①内袋はぬれた手で触れないこと。
 - ②外袋の開封後は使い切ることが望ましい。
 - ③薬液の調製は所定量の水の3分の1程度を入れた後、内袋を開封せずにそのまま容器内に投入すること。容器内に水を定量まで加えた後、よく攪拌すること。
- 3) 調製した薬液は、できるだけ早くその日のうちに使用すること。
- 4) てんさいの育苗期の灌注は薬液が茎葉に残っていると薬害を生ずることがあるので、軽く散水(0.5 L/m²)して除去すること。
- 5) てんさい・ばれいしょ・たまねぎに対して希釈倍数300倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用すること。
- 6) さくらに使用する場合、夏期高温時には薬害を生ずるおそれがあるのでさけること。
- 7) カーネーションの品種によっては薬害を生ずるおそれがあるので、初めて使用する場合は使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用すること。
- 8) 蚕に対して毒性があるので、桑葉にかからないように注意すること。
- 9) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ③養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 10) 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
 - ①散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - ②散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③散布中薬液の漏れのないように、機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ④散布薬液の飛散によって他の動植物及び諸物件に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意すること。
- 11) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

3. 15%液剤

(1) 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アセフェートを含 む農薬の 総使用回数
ばら	アブラムシ類 チュウレンジハバチ	250～500	100～300	—	5回以内	散布	5回以内
きく	アブラムシ類						
さくら	アメリカシロヒトリ						
つつじ類	ツツジグンバイ ベニモンアオリンガ		200～700				
つばき類	チャドクガ						
くちなし	オオスカシバ						
まさき	ミノウサギ						
さんごじゅ	サンゴジユハムシ						

(2) 使用上の注意事項

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。
- 2) さくらに使用する場合、夏季高温時には薬害を生ずるおそれがあるのでさけること。
- 3) 適用作物群に属する作物又はその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

4. 10%乳剤

(1) 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
ばら きく	アブラムシ類	200～400倍	100～300L/10a	5回以内	散布	5回以内
さくら	アメリカシロヒトリ		200～700L/10a			
つばき類	チャドクガ					

(2) 使用上の注意事項

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 2) 散布液調製後はできるだけ速やかに使用すること。
- 3) さくらに使用する場合、夏季高温時には薬害を生ずるおそれがあるのでさけること。

(3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

5. 5%粒剤

(1) 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数		
キャベツ	アオムシ、コガ ヨウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)		
	アザミウマ類	6kg/10a (2g/株)						
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期		散布			
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時		1回		作条散布 又は植穴処理	1回
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ							
ピーマン	アブラムシ類						2g/株	
はくさい	アオムシ、コガ ヨウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)					植穴処理	
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (2g/株)		株元散布				
だいこん	アオムシ、コガ アブラムシ類	3~4kg/10a	は種前	作条散布				
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫21日前 まで	株元散布		2回以内 (株元散布は 1回以内、散布 は1回以内)		
ごぼう		3~6kg/10a	収穫75日前 まで					
れんこん		4kg/10a	収穫14日前 まで	2回以内	散布 無人ヘリコプター による散布	2回以内		
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	植付時	1回	作条散布	3回以内 (植付時の処 理は1回以 内、植付後は 2回以内)		
えだまめ		ハスモンヨウ	3~6kg/10a	収穫21日前 まで	3回以内	生育期株元散布	3回以内	
なばな		アブラムシ類	6kg/10a	定植時 は種時	1回	植溝土壌混和 播溝土壌混和	1回	
花き類・ 観葉植物	アザミウマ類 アブラムシ類 ヨウムシ類	3~6kg/10a	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内		
宿根スターチス	コガネムシ類幼虫	6kg/10a						
カーネーション	コガ							
アリウム	ネギコガ							
きく	ネギムシ類 ハモグリバエ類							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数
たदैい	アブラムシ類	セル成型育苗 トレイ1箱ま たはペーパー ポット1冊 (30×60cm、 使用土壌約 1.5～4L) 当り 50g	定植時	1回	本剤の所定量を セル成型育苗ト レイまたはペー パーポットの上 から均一に散布 する。	1回
		株元散布				
いぐさ	イグサノムシガ	4kg/10a	生育期	2回以内	湛水散布	2回以内
芝	スジキリヨウ シハツカ	10kg/10a	発生初期	5回以内	全面散布	5回以内
	タマヤカ	5～10kg/10a				
たばこ	ヨトウムシ、ネキムシ アブラムシ類 アザミウマ類 ジャコイカ ヤサイゾウムシ	3～6kg/10a	移植前	1回	作条散布後 土壌混和	2回以内
	アブラムシ類		本畑初期		株元散布	

(2) 使用上の注意事項

- 1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 2) 土壌が極度に乾燥している時は使用しないこと。
- 3) 芝のスジキリヨトウ、シバツトガ及びタマナヤガの防除に使用する場合、散布後 10 アール当たり 500～1000 L の散水处理は有効である。
- 4) いぐさ・れんこんに使用する場合は、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも 7 日間は通常の湛水状態を保ち落水、かけ流しはしないこと。
- 5) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 6) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ③養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 7) 間引き菜、つまみ菜に使用しないこと。
- 8) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

たばこに使用する場合には次の注意事項を守ること。

- 9) 本剤が葉に付着すると、薬害を生ずるのでかからないように注意して散布すること。
- 10) 本剤を誤って過剰に使用した場合は薬害（下葉の黄変、葉縁の褐変）を生ずることがあるので散布量を厳守すること。
- 11) ヨトウムシの防除については処理時期から発生までの期間が長くなった場合には、効果が劣ることがあるので、その場合には、他の散布剤を併用すること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

本剤を無人ヘリコプターで散布する場合は、次の注意事項を守ること。

- 12) 専用の粒剤散布装置によって散布すること。
- 13) 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整すること。
- 14) 散布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意すること。

(3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

6. 2.5%粒剤（アセフェート・クロチアニジン粒剤）

(1) 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
トマト	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	1回
なす		2g/株				
きゅうり	コナジラミ類					
花き類・ 観葉植物 (ペゴニア、 はぼたん、 ガーベラを 除く)	アブラムシ類	1g/株 (但し、 40g/m ² まで)	発生初期	4回以内	生育期 株元処理	5回以内
ペゴニア	アブラムシ類 コナジラミ類幼虫	2g/株 (但し、 40g/m ² まで)				
はぼたん	アブラムシ類 アオムシ					
ガーベラ	アブラムシ類 ハモグリバエ類					
クロトン	シロコナカイガラムシ					

(2) 使用上の注意事項

- 1) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにすること。
- 2) ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
- 3) マルハナバチを利用する場合、本剤使用后 20 日目ごろより後に導入すること。
- 4) 栽培本数が多い場合には、1 m²当たり 40g を超えないように適用の範囲内で 1 株当たりの単回使用量を調整すること。
- 5) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。
- 6) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

(3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

V. 残留性及び水質汚濁性

1. 作物残留性

(1) 分析法の原理と操作概要

(2) 分析対象の化合物名

親化合物

化学名：O,S-ジメチル-N-アセチルホスホロアミドチオエート

一般名：アセフェート

分子式：C₄H₁₀NO₃PS

分子量：183.17

代謝経路での記号：(I)

(3) 残留試験結果

次頁以降に示す。

作物残留分析結果

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
92	未成熟 とうもろこし (露地) (生食用子実) 平成 14 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 200L/10a 散布	北海道 中央 農試	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				2	7	0.05	0.05			0.05	0.04		
				2	14	0.02	0.02			0.03	0.03		
				2	21	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
			長野 植防 南信	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				2	7	0.02	0.02			0.01	0.01		
				2	14	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				2	21	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
55	未成熟 とうもろこし (露地) (生食用子実) 昭和 55 年度	粒剤 (5%) 2g/株 株元施用	山梨 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	21	0.016	0.016			0.066	0.065		
				2	14	0.124	0.116			0.152	0.150		
			長野 野菜 花き試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	21	0.168	0.165			0.091	0.088		
				2	14	0.204	0.204			0.174	0.172		
	とうもろこし (露地) (乾燥子実) 昭和 55 年度	粒剤 (5%) 2g/株 株元施用	山梨 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	26	0.152	0.152			0.053	0.052		
			長野 野菜 花き試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	48	0.014	0.013			0.019	0.018		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
56	だいず (露地) (乾燥子実) 昭和 56 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 100L/10a 散 布	千葉 原種農	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	67	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
			熊本農 試園芸	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	51	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
93	だいず (露地) (乾燥子実) 平成 14 年度	水和剤 (50%) 16 倍 1.6L/10a 無人ヘリコプター散布	宮城 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				3	28	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				3	44	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				3	56	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
			大分 病虫害 防除所	0	—	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				3	28	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				3	42	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				3	56	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
94	いんげんまめ (露地) (乾燥子実) 平成15年度	水和剤 (50%) 1,000倍 150L/10a 散布	北海道 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				3	14	0.27	0.26			0.18	0.18		
				3	21	0.21	0.20			0.26	0.26		
	いんげんまめ (露地) (乾燥子実) 昭和48年度	水和剤 (50%) 1,000倍 200L/10a 散布	岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				3	14	0.16	0.16			0.12	0.12		
				3	21	0.08	0.08			0.07	0.06		
58	いんげんまめ (露地) (乾燥子実) 昭和48年度	粒剤 (5%) 3kg/10a 播種時処理区	長野 園試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	101	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	101	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
		粒剤 (5%) 3kg/10a 播種時処理区	北海道 十勝 農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	98	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	98	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
	さやいんげん (露地) (さや) 昭和48年度	粒剤 (5%) 3kg/10a 播種時処理区	長野 園試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	70	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	70	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
		粒剤 (5%) 3kg/10a 播種時処理区	北海道 十勝 農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	78	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	78	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
57	あずき (露地) (生子実) 昭和 51 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 100L/10a 散布	北海道 中央 農試	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				3	14	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				3	21	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				3	28	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
	あずき (露地) (乾燥子実) 昭和 51 年度		北海道 十勝 農試	0	—	0.02	0.02			0.006	0.006		
				3	14	0.05	0.04			<0.005	<0.005		
				3	21	0.02	0.02			<0.005	<0.005		
				3	28	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
83	あずき (露地) (乾燥子実) 平成 9 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 100L/10a 散布	新潟 農総研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	14	0.294	0.284			0.328	0.325		
				3	21	0.352	0.352			0.325	0.312		
				3	28	0.210	0.206			0.147	0.144		
	広島 植防		0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			3	14	0.049	0.047			0.020	0.020			
			3	21	0.054	0.052			0.021	0.020			
			3	28	0.045	0.043			0.029	0.027			

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
86	ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成 11 年度	水溶剤 (95%) 2,000 倍 150L/10a 散布	北海道 中央 農試	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				6	7	0.03	0.03			0.027	0.026		
				6	14	0.03	0.02			0.035	0.034		
				6	21	0.05	0.04			0.039	0.038		
			日植 防研	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				5	7	0.37	0.36			0.363	0.362		
				5	14	0.13	0.13			0.151	0.150		
				5	21	0.10	0.10			0.120	0.117		
89	ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成 12 年度	水溶剤 (95%) 2,000 倍 150L/10a 散布	福島 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				5	7	0.04	0.04			0.068	0.067		
				5	14	0.03	0.03			0.041	0.041		
				5	21	0.03	0.03			0.020	0.018		
			長野 植防 松代	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				5	7	0.06	0.06			0.050	0.050		
				5	14	0.04	0.04			0.032	0.030		
				5	21	0.02	0.02			0.014	0.014		
		1回目 粒剤 (5%) 2g/株 (6kg/10a) 植付時作条散布 + 2~5 回目 水溶剤 (95%) 2,000 倍 150L/10a 散布	福島 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				5	7	0.04	0.04			0.049	0.048		
				5	14	0.02	0.02			0.017	0.016		
				5	21	0.01	0.01			0.011	0.010		
長野 植防 松代	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005					
	5	7	0.10	0.10			0.076	0.074					
	5	14	0.04	0.04			0.028	0.028					
	5	21	0.03	0.03			0.014	0.014					
121 (GLP)	ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成 23 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	青森 植防	0	—	<0.01	<0.01						
				2	7	0.01	0.01						
				2	14	<0.01	<0.01						
				2	21	<0.01	<0.01						
		水和剤 (50%) 1,000 倍 175L/10a 散布	鹿児島 農業環 境協会	0	—	<0.01	<0.01						
				2	7	0.18	0.18						
				2	14	0.16	0.15						
				2	21	0.11	0.10						
2	28	0.12	0.12										
20	ばれいしょ (露地) (塊茎) 昭和 62 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	広島 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				5	7	0.400	0.389			0.367	0.366		
				5	14	0.370	0.366			0.276	0.269		
		水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	長崎 総農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				5	7	0.170	0.165			0.221	0.218		
				5	15	0.210	0.200			0.164	0.162		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)									
						公的分析機関				社内分析機関					
						アセフェート				アセフェート					
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
21	ばれいしょ (露地) (塊茎) 昭和46年度	水和剤 (50%) 1,000倍 100L/10a 散布	日植 防研	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005				
						3	7	<0.003	<0.003			0.0212	0.020		
						3	15	0.003	0.003			0.006	0.006		
						3	30	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
						5	7	0.005	0.005			0.030	0.030		
						5	15	0.003	0.003			0.010	0.010		
	5	30	<0.003	<0.003			0.011	0.010							
	水和剤 (50%) 1,000倍 100L/10a 散布	北海道 中央 馬鈴薯 原々種 農場	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005					
					3	10	0.032	0.032			0.0428	0.041			
					3	17	0.017	0.016			0.0603	0.060			
					3	32	0.007	0.005			0.022	0.020			
					5	7	0.049	0.047			0.0634	0.060			
5					15	0.018	0.016			0.1456	0.136				
5	31	0.011	0.010			0.052	0.051								
水和剤 (50%) 1,000倍 90~200L/10a 散布	長崎 総農試 愛野	0	—	<0.003	<0.003										
				3	43	0.007	0.007								
				6	19	0.050	0.050								
				0	—	<0.01	<0.01								
				2	7	0.02	0.02								
				2	14	<0.01	<0.01								
2	21	<0.01	<0.01												
2	28	<0.01	<0.01												
水和剤 (50%) 300倍 24.9L/10a 散布	日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01										
				2	7	0.30	0.30								
				2	14	0.18	0.18								
				2	21	0.20	0.18								
				2	28	0.21	0.20								
				0	—	<0.01	<0.01								
1回目 粒剤 (5%) 2g/株 植付時作条散布 + 2~5回目 水和剤 (50%) 300倍 25L/10a 散布	北海道 中央 農試	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01						
				5	7	0.09	0.09			0.08	0.08				
				5	14	0.06	0.06			0.06	0.06				
				5	21	0.04	0.04			0.05	0.05				
	日植 防研			0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
						5	7	0.15	0.14			0.16	0.15		
5	14	0.13	0.12					0.08	0.08						
5	21	0.07	0.07					0.06	0.06						
粒剤 (5%) 8.5kg/10a 植付時作条散布	北海道 北見 農試	0	—			<0.005	<0.005			<0.003	<0.003				
						1	105	<0.005	<0.005			<0.003	<0.003		
粒剤 (5%) 6kg/10a 植付時作条散布	日植 防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.003	<0.003						
				1	97	<0.005	<0.005			<0.003	<0.003				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
23	ばれいしょ (露地) (塊茎) 昭和46年度	粒剤 (5%) 1g/株 植付時 散布 2g/株 植付時 散布	長野 八ヶ岳 原々種 農場	0 1 1	— 99 99	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
						<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
						<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
			北海道 中央 馬鈴薯 原々種 農場	0 1 1	— 112 112	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
						<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
						<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
77	やまのいも (露地) (塊茎) 平成6年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 250L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	21	0.199	0.196			0.167	0.165		
				3	30	0.119	0.118			0.214	0.206		
				3	45	0.125	0.120			0.175	0.169		
	水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	長野植防松代	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			3	21	0.207	0.200			0.340	0.333			
			3	30	0.210	0.209			0.148	0.144			
			3	45	0.156	0.156			0.156	0.154			
113	やまのいも (露地) (塊茎) 平成18年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 200L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				2	60	0.04	0.04			0.04	0.04		
				2	70	0.03	0.03			0.06	0.06		
				2	90	0.02	0.02			0.02	0.02		
	水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a 散布	長野植防松代	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01			
			2	59	0.19	0.18			0.19	0.19			
			2	69	0.11	0.10			0.12	0.12			
			2	89	0.09	0.08			0.07	0.07			

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)									
						公的分析機関				社内分析機関					
						アセフェート				アセフェート					
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
85	てんさい (露地) (根部) 平成 11 年度	1 回目 水溶剤 (95%) 100 倍、1L/冊 灌注処理	北海道 植防 (札幌)	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005				
				4	42	<0.01	<0.01			0.006	0.006				
				4	56	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005				
				4	70	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005				
		2~4 回目 2,000 倍 100L/10a 散布	北海道 植防 (音更)	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005				
				4	42	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005				
				4	56	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005				
				4	70	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005				
24	てんさい (露地) (根部) 昭和 53 年度	水和剤 (50%) 1 回目、50 倍、 5L/ハートボット 6 冊	北海道 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
				4	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
				2~4 回目 1,000 倍 100L/10a 散布	北海道 中央 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
						4	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
		水和剤 (50%) 1,000 倍 100L/10a 散布	北海道 農試	4	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
				北海道 中央 農試	4	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
		水和剤 (50%) 1 回目、50 倍、 5L/ハートボット 6 冊	北海道 農試	5	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
				北海道 中央 農試	5	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
88	てんさい (露地) (根部) 平成 12 年度	1 回目 水和剤 (50%) 50 倍 2.5L/m ² 灌注処理	北海道 中央 農試 (早来 町)	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
				4	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
				4	60	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
				4	75	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
		2~4 回目 水和剤 (50%) 16 倍 1.6L/10a 無人ヘリコプター散布	北海道 植防 (音更 町)	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
				4	45	<0.005	<0.005			0.006	0.006				
				4	60	<0.005	<0.005			0.012	0.011				
				4	75	0.005	0.005			<0.005	<0.005				
90	てんさい (露地) (根部) 平成 13 年度	水和剤 (50%) 1 回目 50 倍 2.5L/m ² 灌注処理	北海道 中央 農試	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				4	28	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				4	42	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				4	56	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
		2~4 回目 300 倍 25L/10a 散布	北海道 十勝 農試	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				4	28	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				4	42	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				4	56	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
25	てんさい (露地) (根部) 昭和46年度	水和剤 (50%) 1,000倍 100L/10a 散布	北海道 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	50	0.009	0.008			0.0126	0.012		
				5	50	0.019	0.019			0.0200	0.020		
	昭和46年度	水和剤 (50%) 1,000倍 100L/10a 散布	甜菜研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	51	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				5	40	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
26	てんさい (露地) (根部) 昭和47年度	粒剤 (5%) 13kg/10a 散布	北海道 農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				3	83	0.011	0.010			<0.005	<0.005		
				4	49	0.023	0.021			0.0074	0.007		
	昭和47年度	粒剤 (5%) 15kg/10a (2g/株) 散布	甜菜研	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				2	137	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				3	107	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
65	だいこん (露地) (根部) 平成4年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	日植 防研 牛久	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	7	0.226	0.224			0.141	0.136		
				3	14	0.065	0.064			0.042	0.041		
				3	21	0.028	0.027			0.020	0.020		
	平成4年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	日植 防研 高知	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	7	0.566	0.558			0.654	0.639		
				3	14	0.442	0.440			0.344	0.336		
				3	21	0.219	0.210			0.121	0.116		
だいこん (露地) (葉部) 平成4年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	日植 防研 牛久	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			3	7	2.24	2.22			3.52	3.42			
			3	14	0.565	0.552			0.401	0.393			
			3	21	0.010	0.009			0.080	0.080			
平成4年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	日植 防研 高知	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			3	7	61.2	60.7			49.9	47.8			
			3	14	19.2	18.6			21.8	21.4			
			3	21	6.00	6.00			6.39	6.28			
123 iLP)	だいこん (露地) (根部) 平成23年度	粒剤 (5%) 4kg/10a 作条処理 + 水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散布	石川 植防	0	—	<0.01	<0.01						
				2	14	0.06	0.06						
				2	21	0.03	0.03						
				2	28	0.05	0.05						
	平成23年度	粒剤 (5%) 4kg/10a 作条処理 + 水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散布	和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01						
				2	14	0.04	0.04						
				2	21	0.02	0.02						
				2	28	0.02	0.02						
	だいこん (露地) (葉部) 平成23年度	粒剤 (5%) 4kg/10a 作条処理 + 水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散布	石川 植防	0	—	<0.01	<0.01						
				2	14	4.09	4.02						
				2	21	1.15	1.09						
				2	28	0.91	0.86						
平成23年度	粒剤 (5%) 4kg/10a 作条処理 + 水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散布	和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01							
			2	14	5.88	5.66							
			2	21	4.90	4.80							
			2	28	3.09	3.04							

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
17	だいこん (露地) (根部) 昭和 62 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 150L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	14	0.014	0.014			0.008	0.008		
				1	21	0.007	0.006			<0.005	<0.005		
				2	14	0.013	0.013			0.010	0.009		
				2	21	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
		水和剤 (50%) 1,500 倍 150L/10a 散布	長野植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	14	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	21	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	14	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	21	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
	だいこん (露地) (葉部) 昭和 62 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 150L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.01	<0.01		
				1	14	0.080	0.077			0.08	0.08		
				1	21	0.011	0.010			<0.01	<0.01		
				2	14	0.076	0.074			0.10	0.10		
				2	21	0.017	0.016			0.01	0.01		
		水和剤 (50%) 1,500 倍 150L/10a 散布	長野植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.01	<0.01		
				1	14	0.053	0.052			0.12	0.12		
1				21	<0.005	<0.005			<0.01	<0.01			
2				14	0.124	0.122			0.09	0.09			
2				21	<0.005	<0.005			<0.01	<0.01			
だいこん (露地) (根部) 昭和 62 年度	水和剤 (50%) 2,000 倍 150L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			1	14	0.007	0.007			<0.005	<0.005			
			1	21	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			2	14	0.010	0.010			0.010	0.010			
			2	21	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
	水和剤 (50%) 2,000 倍 150L/10a 散布	長野植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			1	14	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			1	21	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			2	14	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			2	21	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
だいこん (露地) (葉部) 昭和 62 年度	水和剤 (50%) 2,000 倍 150L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.01	<0.01			
			1	14	0.028	0.026			0.01	0.01			
			1	21	0.011	0.010			<0.01	<0.01			
			2	14	0.017	0.016			0.08	0.08			
			2	21	0.015	0.014			<0.01	<0.01			
	水和剤 (50%) 2,000 倍 150L/10a 散布	長野植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.01	<0.01			
			1	14	0.205	0.196			0.06	0.06			
			1	21	0.008	0.008			<0.01	<0.01			
			2	14	0.044	0.044			0.10	0.10			
			2	21	0.007	0.006			<0.01	<0.01			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
18	だいこん (露地) (根部) 昭和46年度	水和剤 (50%) 2,000倍 60~100L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.003	<0.003			0.005	0.005		
				3	20	<0.003	<0.003			0.005	0.005		
				3	31	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				3	40	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				4	20	0.006	0.004			0.005	0.005		
				4	31	<0.003	<0.003			0.005	0.005		
				4	40	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
	昭和46年度	水和剤 (50%) 2,000倍 60~100L/10a 散布	岡山農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				2	21	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				2	32	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				2	42	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				3	20	<0.003	<0.003			0.007	0.006		
				3	30	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				3	41	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
	だいこん (露地) (葉部) 昭和46年度	水和剤 (50%) 2,000倍 60~100L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	20	<0.005	<0.005			0.018	0.016		
				3	31	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	40	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
4				20	0.058	0.048			0.027	0.025			
4				31	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
4				40	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
昭和46年度		水和剤 (50%) 2,000倍 60~100L/10a 散布	岡山農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	21	—	—			—	—		
				2	32	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	42	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	20	0.179	0.163			0.154	0.147		
				3	30	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	41	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
19	だいこん (露地) (根部) 昭和51年度	粒剤 (5%) 5kg/10a 蒔溝処理	茨城園試	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				1	63	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
	昭和51年度	粒剤 (5%) 5kg/10a 蒔溝処理	日植防研	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				1	60	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
	だいこん (露地) (葉部) 昭和51年度	粒剤 (5%) 5kg/10a 蒔溝処理	茨城園試	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				1	63	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
	昭和51年度	粒剤 (5%) 5kg/10a 蒔溝処理	日植防研	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				1	60	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
107	かぶ (施設) (根部) 平成 17 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 300L/10a 散布	埼玉 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	7	0.25	0.25			0.13	0.13		
				1	14	0.09	0.09			0.08	0.08		
				1	21	0.06	0.06			0.03	0.03		
	かぶ (施設) (葉部) 平成 17 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 197.7L/10a 散布	徳島 農水総 技セ	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	7	0.04	0.04			0.03	0.03		
				1	14	0.01	0.01			<0.01	<0.01		
				1	21	0.01	0.01			<0.01	<0.01		
91	かぶ (露地) (根部) 平成 13 年度	粒剤 (5%) 4kg/10a 株元散布	岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				1	14	0.01	0.01			0.018	0.017		
				1	21	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				1	28	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
	かぶ (露地) (茎葉) 平成 13 年度	粒剤 (5%) 4kg/10a 株元散布	徳島 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				1	14	0.05	0.05			0.029	0.028		
				1	21	0.13	0.12			0.038	0.034		
				1	28	<0.01	<0.01			0.010	0.010		
91	かぶ (露地) (根部) 平成 13 年度	粒剤 (5%) 4kg/10a 株元散布	岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				1	14	0.11	0.10			0.130	0.124		
				1	21	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				1	28	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
	かぶ (露地) (茎葉) 平成 13 年度	粒剤 (5%) 4kg/10a 株元散布	徳島 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.004	<0.004		
				1	14	0.61	0.58			0.269	0.267		
				1	21	0.13	0.12			0.063	0.061		
				1	28	<0.01	<0.01			0.018	0.017		

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
33	はくさい (露地) (茎葉) 昭和61年度	水和剤 (50%) 1,500倍 150L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	7	1.23	1.22			1.14	1.10		
				2	14	0.025	0.024			0.040	0.038		
				2	21	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
	昭和61年度	水和剤 (50%) 1,500倍 150L/10a 散布	長野植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	7	0.048	0.048			0.120	0.118		
				2	14	0.020	0.020			0.021	0.021		
				2	21	0.010	0.010			<0.005	<0.005		
34	はくさい (露地) (茎葉) 昭和62年度	水和剤 (50%) 1,000倍 150L/10a 散布	福島植防	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	7	0.368	0.351			0.376	0.373		
				3	14	0.294	0.292			0.220	0.220		
				3	21	0.138	0.134			0.101	0.100		
	昭和62年度	水和剤 (50%) 1,000倍 150L/10a 散布	長野中信農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	7	0.420	0.412			0.451	0.432		
				3	14	0.050	0.050			0.049	0.047		
				3	21	<0.005	<0.005			0.006	0.006		
35	はくさい (露地) (茎葉) 昭和46年度	水和剤 (50%) 2,000倍 70L/10a 散布	北海道上川農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				2	15	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				2	30	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				3	15	0.004	0.004			0.005	0.005		
	昭和46年度	水和剤 (50%) 2,000倍 150L/10a 散布	愛知農総試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				2	15	0.247	0.247			0.090	0.084		
				2	30	0.117	0.115			0.170	0.163		
				3	15	0.452	0.452			0.148	0.128		
135 (GLP)	はくさい (露地) (茎葉) 平成26年度	粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理 + 水溶剤 (50%) 1,500倍 196L/10a 散布	日植防茨城	0	—	<0.01	<0.01						
				2	14	0.18	0.18						
				2	21	0.04	0.04						
				2	28	0.03	0.03						
	平成26年度	粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理 + 水溶剤 (50%) 1,500倍 204L/10a 散布	日植防宮崎	0	—	<0.01	<0.01						
				2	14	0.04	0.04						
				2	21	0.02	0.02						
				2	28	<0.01	<0.01						
67	はくさい (露地) (茎葉) 平成4年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 株元処理	日植防研牛久	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	14	0.840	0.817			0.406	0.400		
				3	21	0.596	0.594			0.609	0.586		
				3	30	0.376	0.368			0.218	0.215		
	平成4年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 株元処理	日植防研高知	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	14	0.109	0.107			0.078	0.075		
				3	21	0.343	0.334			0.248	0.241		
				3	30	0.562	0.540			1.05	1.05		

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
36	はくさい (露地) (茎葉) 昭和 62 年度	粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理 及び 6kg/10a 散布	日植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	21	0.019	0.018			0.010	0.010		
				2	30	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
		6kg/10a 散布	長野 植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	21	0.017	0.016			0.017	0.016		
				2	30	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
	昭和 62 年度	粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理 及び 6kg/10a 散布	長野 植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	21	0.535	0.533			0.147	0.144		
				2	30	0.070	0.068			0.078	0.076		
		6kg/10a 散布	長野 植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	21	0.729	0.692			0.381	0.371		
				2	30	0.193	0.192			0.128	0.124		
124 (GLP)	はくさい (露地) (茎葉) 平成 23 年度	粒剤 (5%) 2g/株 定植時: 植穴散布 + 生育期: 株元散布	日植防 千葉	0	—	<0.01	<0.01						
				2	14	0.44	0.41						
				2	21	0.26	0.26						
			日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01						
				2	14	0.22	0.22						
				2	21	0.09	0.09						
2	28	0.06	0.06										
125 (GLP)	はくさい (露地) (茎葉) 平成 25 年度	粒剤 (5%) 2g/株 定植時: 植穴処理	青森 植防	0	—	<0.01	<0.01						
				1	45	0.05	0.05						
				1	52	0.01	0.01						
			日植防 茨城	0	—	<0.01	<0.01						
				1	55	<0.01	<0.01						
				1	62	<0.01	<0.01						
1	66	<0.01	<0.01										
134 (GLP)	はくさい (露地) (茎葉) 平成 26 年度	粒剤 (5%) 2g/株 定植時 植穴処理	日植防 茨城	0	—	<0.01	<0.01						
				1	55	<0.01	<0.01						
				1	62	<0.01	<0.01						
			日植防 宮崎	1	69	<0.01	<0.01						
				0	—	<0.01	<0.01						
				1	47	<0.01	<0.01						
1	54	<0.01	<0.01										
1	61	<0.01	<0.01										

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
37	はくさい (露地) (茎葉) 昭和46年度	粒剤 (5%) 1g/株 散布	北海道 上川 農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	64	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	90	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	64	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	90	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
		2g/株 散布	宮城 農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	102	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	119	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	102	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	119	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
38	はくさい (露地) (茎葉) 昭和47年度	粒剤 (5%) 2g/株 散布	千葉 農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				2	28	0.116	0.112			0.116	0.109		
				2	40	<0.003	<0.003			0.180	0.170		
				3	28	0.059	0.055			0.075	0.072		
				3	40	0.027	0.025			<0.005	<0.005		
		粒剤 (5%) 2g/株 散布	北海道 中央 農試	0	—	0.006	0.005			<0.005	<0.005		
				2	21	0.592	0.550			—	—		
				2	31	0.292	0.278			0.370	0.356		
				2	41	0.119	0.116			0.082	0.081		
				3	21	0.180	0.168			0.134	0.129		
3	31	0.198	0.180			0.080	0.078						
3	42	0.064	0.062			0.054	0.051						

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)										
						公的分析機関				社内分析機関						
						アセフェート				アセフェート						
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
27	キャベツ (露地) (葉球) 昭和 62 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 180L/10a 散布	千葉原 種農場	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				3	6	0.058	0.057			0.083	0.083					
				3	13	0.032	0.032			0.029	0.028					
				3	19	0.102	0.101			0.023	0.022					
		水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	石川 河北潟 営農セ ンター	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				3	7	0.673	0.664			0.510	0.492					
				3	14	0.466	0.460			0.291	0.276					
				3	21	0.140	0.139			0.132	0.131					
28	キャベツ (露地) (葉球) 昭和 46 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 200L/10a 散布	岡山 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				3	7	0.369	0.362			0.441	0.435					
				3	14	0.209	0.200			0.214	0.213					
				6	7	1.363	1.340			1.710	1.701					
		水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	奈良 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				3	6	0.378	0.364			0.398	0.393					
				3	13	0.044	0.042			0.044	0.038					
				6	6	1.103	1.046			1.342	1.340					
			6	13	0.070	0.068			0.085	0.081						
			29	キャベツ (露地) (葉球) 昭和 47 年度	水和剤 (50%) 2,000 倍 100~200L/10a 散布	岡山 農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
							3	14	<0.003	<0.003			0.0518	0.050		
							3	30	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
6	14	<0.003					<0.003			0.0216	0.021					
	水和剤 (50%) 2,000 倍 150L/10a 散布	奈良 農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005						
			3	14	0.125	0.118			0.4230	0.420						
			3	29	0.080	0.079			0.0728	0.072						
			6	14	0.236	0.230			0.8340	0.798						
			6	29	0.125	0.116			0.2276	0.227						
			119	キャベツ (露地) (葉球) 平成 20 年度	粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理	岩手 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
							1	68	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
					粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理 + 水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a 散布		2	14	0.37	0.36			0.15	0.15		
2	21	0.33					0.32			0.18	0.18					
				日植 防研 山梨	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
					1	84	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
	粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理 + 水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a 散布			2	14	0.04	0.04			0.02	0.02					
				2	21	0.09	0.09			0.03	0.03					
			2	28	0.03	0.03			0.02	0.02						

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)										
						公的分析機関				社内分析機関						
						アセフェート				アセフェート						
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
66	キャベツ (露地) (葉球)	粒剤 (5%) 6kg/10a 散布	日植 防研 牛久	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				3	14	0.996	0.986			1.17	1.16					
				3	21	0.621	0.606			0.436	0.418					
				3	30	0.176	0.170			0.297	0.282					
	平成4年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 散布	日植 防研 高知	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				3	14	0.982	0.964			1.03	0.979					
				3	21	1.96	1.94			1.41	1.34					
				3	30	0.322	0.317			0.404	0.398					
30	キャベツ (露地) (葉球)	粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理 及び 6kg/10a 散布	日植 防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				2	21	0.279	0.272			0.297	0.286					
				2	30	0.190	0.189			0.148	0.147					
		昭和62年度	6kg/10a 散布	長野 植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
					2	21	0.345	0.342			0.396	0.394				
					2	30	0.243	0.240			0.283	0.270				
			粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理 及び 6kg/10a 散布	長野 植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
					2	21	0.231	0.230			0.163	0.162				
					2	30	0.048	0.046			0.030	0.029				
					6kg/10a 散布	長野 植防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
							2	21	0.111	0.111			0.092	0.091		
							2	30	0.082	0.082			0.044	0.043		
31	キャベツ (露地) (葉球)	粒剤 (5%) 1g/株 散布	日植 防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				1	57	<0.005	<0.005			0.009	0.008					
				1	57	0.009	0.008			0.020	0.018					
	昭和46年度	粒剤 (5%) 1g/株 散布	滋賀 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				1	85	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				1	85	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
32	キャベツ (露地) (葉球)	粒剤 (5%) 2g/株 散布	日植 防研	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005					
				3	20	0.090	0.086			0.1416	0.138					
				3	30	0.072	0.070			0.2510	0.249					
				3	40	0.037	0.034			0.0914	0.090					
				4	20	0.185	0.178			0.2968	0.295					
				4	30	0.063	0.057			0.0632	0.062					
				4	40	0.035	0.032			0.0322	0.032					
				昭和47年度	粒剤 (5%) 2g/株 散布	滋賀 農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
	3	20	0.388				0.384			0.8480	0.841					
	3	30	0.360				0.354			0.4990	0.494					
	3	40	0.067				0.061			0.6000	0.595					
	4	20	0.591				0.588			0.8641	0.860					
	4	30	0.535				0.518			0.4420	0.438					
	4	40	0.343	0.325			0.7130	0.711								

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
126	こまつな (施設) (茎葉) 平成 23 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 188、167L/10a 散布	日植防 千葉	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	7	4.33	4.26			3.90	3.88		
				1	14	0.59	0.57			1.14	1.13		
				1	21	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
	こまつな (施設) (茎葉) 平成 23 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 180、179L/10a 散布	日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	7	1.93	1.90			1.81	1.75		
				1	14	0.08	0.08			0.09	0.09		
				1	21	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
	こまつな (施設) (茎葉) 純水洗浄後 平成 23 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 188、167L/10a 散布	日植防 千葉	0	—	<0.01	<0.01						
				1	7	4.04	4.02						
				1	14	0.52	0.52						
				1	21	<0.01	<0.01						
こまつな (施設) (茎葉) 調理加工後 (茹でる) 平成 23 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 188、167L/10a 散布	日植防 千葉	0	—	<0.01	<0.01							
			1	7	0.44	0.44							
			1	14	0.05	0.04							
			1	21	<0.01	<0.01							
104	こまつな (施設) (茎葉) 平成 17 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散布	埼玉 植防	0	—	<0.02	<0.02			<0.01	<0.01		
				1	7	3.93	3.89			6.83	6.58		
				1	14	1.29	1.28			3.28	3.16		
				1	21	0.47	0.46			0.32	0.32		
	こまつな (施設) (茎葉) 平成 17 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散布	徳島 農水総 技セ	0	—	<0.02	<0.02			<0.01	<0.01		
				1	7	2.12	2.09			1.79	1.76		
				1	14	0.11	0.10			0.07	0.07		
				1	21	0.08	0.08			0.01	0.01		
120	こまつな (施設) (茎葉) 平成 18 年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 播溝処理	兵庫 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	37	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	40	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	43	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
	こまつな (施設) (茎葉) 平成 18 年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 播溝処理	徳島 農水総 技セ	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	41	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	44	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	47	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)									
						公的分析機関				社内分析機関					
						アセフェート		アセフェート		アセフェート		アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
106	みずな (露地) (茎葉) 平成 17 年	水和剤 (50%) 1,500 倍 300L/10a 散布	滋賀 植防	0	—					<0.01	<0.01				
				2	7					4.46	4.45				
				2	13					3.82	3.80				
				2	21					0.58	0.56				
				水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散布	徳島 農水総 技セ	0	—					<0.01	<0.01		
						2	7					0.38	0.36		
						2	14					0.02	0.02		
						2	21					<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
105	チンゲンサイ (施設) (茎葉) 平成 17 年	水和剤 (50%) 1,500 倍 150L/10a 散布	日植 防研 牛久	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	7	2.78	2.75			3.29	3.26		
				1	14	1.67	1.66			1.36	1.33		
				1	21	0.45	0.45			0.55	0.54		
	水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散布	埼玉 農総研 セ 茶特研	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01			
			1	7	0.65	0.64			0.71	0.70			
			1	14	0.10	0.10			0.10	0.10			
			1	21	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01			
110	チンゲンサイ (施設) (茎葉) 平成 18 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 150L/10a 散布	福島 植防 郡山 試験地	0	—					<0.01	<0.01		
				1	7					1.22	1.19		
				1	14					1.02	0.98		
				1	21					0.10	0.10		
	水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散布	三重 植防	0	—					<0.01	<0.01			
			1	7					1.59	1.54			
			1	14					0.43	0.42			
			1	21					0.01	0.01			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
101	カリフラワー (露地) (花蕾) 平成7年度	水和剤 (50%) 1,000倍 200L/10a 散布	長野 農事試 (原 村)	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	14	0.007	0.006			0.008	0.008		
				3	21	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	28	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
			愛知 農総試	0	—	0.006	0.006			0.005	0.005		
				3	14	0.757	0.724			0.594	0.586		
				3	21	0.292	0.290			0.244	0.240		
				3	28	0.163	0.162			0.208	0.206		

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
73	ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成5年度	水和剤 (50%) 1,000倍 250L/10a 散布	長野農総試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	7	0.773	0.742			0.494	0.488		
				3	14	0.160	0.158			0.072	0.070		
				3	21	0.017	0.016			0.029	0.028		
			愛知農総試	0	—	<0.005	<0.005			0.028	0.026		
				3	7	4.32	4.22			6.37	6.29		
				3	14	1.29	1.28			1.72	1.66		
				3	21	1.19	1.15			1.24	1.24		
82	ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成7年度	水和剤 (50%) 1,000倍 250L/10a 散布	福島植防	0	—					0.013	0.012		
				3	14					0.044	0.044		
				3	21					0.015	0.013		
				3	28					0.022	0.022		
			群馬園試	0	—					<0.005	<0.005		
				3	14					0.096	0.092		
				3	21					0.044	0.043		
				3	28					0.017	0.017		
127 (GLP)	ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成25年度	粒剤 (5%) 2g/株 定植時 株元散布	和歌山植防	0	—	<0.01	<0.01						
				1	80	<0.01	<0.01						
				1	87	<0.01	<0.01						
				1	94	<0.01	<0.01						
			日植防研高知	0	—	<0.01	<0.01						
				1	62	<0.01	<0.01						
				1	69	<0.01	<0.01						
				1	76	<0.01	<0.01						
74	ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成5年度	粒剤 (5%) 2g/株 株元散布	長野農総試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	13	0.098	0.094			0.042	0.042		
				3	21	0.041	0.041			0.024	0.023		
				3	30	<0.005	<0.005			0.013	0.012		
			愛知農総試	0	—	<0.005	<0.005			0.028	0.026		
				3	14	0.940	0.930			0.653	0.642		
				3	21	0.596	0.581			0.485	0.482		
				3	30	0.517	0.508			0.402	0.382		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
108	なばな (露地) (茎葉) 平成 17 年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 定植時 植溝土壌混和	三重 植防 (多気町)	0	—					<0.01	<0.01		
				1	147					<0.01	<0.01		
				1	154					<0.01	<0.01		
				1	161					<0.01	<0.01		
			日植 防研 高知	0	—					<0.01	<0.01		
				1	79					<0.01	<0.01		
				1	86					<0.01	<0.01		
				1	93					<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
79	ごぼう (露地) (根部) 平成7年度	1回目 粒剤(5%) 6kg/10a 1回散布 + 2回目 水和剤(50%) 1,000倍 250L/10a 1回散布	福島 植防	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	60	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	90	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
			群馬 植防	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	60	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	90	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
72	レタス (露地) (茎葉) 平成5年度	水和剤 (50%) 1,000倍 200L/10a 散布	岩手 園試 (高冷地)	0	—	0.014	0.014			0.012	0.012		
				3	14	0.413	0.412			0.498	0.488		
				3	21	0.350	0.348			0.375	0.365		
				3	30	0.043	0.042			0.026	0.026		
			長野 野花試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	14	0.070	0.066			0.030	0.030		
				3	21	0.020	0.020			0.016	0.014		
				3	30	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
117	サラダ菜 (露地) (茎葉) 平成16年度	水和剤 (50%) 1,000倍 120~300L/10a 散布	岩手 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				3	14	3.51	3.46			2.39	2.34		
				3	21	1.34	1.32			0.69	0.66		
				3	28	0.18	0.18			0.08	0.08		
		水和剤 (50%) 1,000倍 200L/10a 散布	日植 防研	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				3	14	1.70	1.67			0.66	0.66		
				3	21	0.19	0.18			0.10	0.10		
				3	28	0.03	0.02			0.02	0.02		
118	リーフレタス (露地) (茎葉) 平成16年度	水和剤 (50%) 1,000倍 200L/10a 散布	愛知 農総試	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				3	14	1.98	1.97			1.92	1.92		
				3	21	0.38	0.36			0.47	0.47		
				3	28	0.16	0.16			0.16	0.16		
		水和剤 (50%) 1,000倍 80~100L/10a 散布	日植 防研 高知	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				3	14	2.71	2.69			2.32	2.28		
				3	21	1.13	1.10			0.72	0.72		
				3	28	0.73	0.71			0.76	0.76		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
102	もりあざみ (露地) (根) 平成 16 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 100L/10a 散布	北海道 中央 農試 (長沼町)	0	—					<0.01	<0.01		
				1	45					<0.01	<0.01		
				1	60					<0.01	<0.01		
				1	75					<0.01	<0.01		
			北海道 道南 農試 (大野町)	0	—					<0.01	<0.01		
				1	45					<0.01	<0.01		
				1	60					<0.01	<0.01		
				1	75					<0.01	<0.01		

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
87	たまねぎ (露地) (鱗茎) 平成 11 年度	水溶剤 (95%) 2,000 倍 150L/10a 散布	北海道 中央 農試	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				5	21	0.02	0.02			0.015	0.015		
				5	28	0.02	0.02			0.012	0.012		
				5	42	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
		水溶剤 (95%) 2,000 倍 150~200L/10a 散布	和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				5	21	0.03	0.03			0.032	0.031		
				5	27	0.04	0.04			0.025	0.023		
				5	42	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
59	たまねぎ (露地) (鱗茎) 昭和 49 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 100L/10a 散布	日植 防研 山梨	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				5	30	0.030	0.028			0.0670	0.067		
				7	30	0.028	0.027			0.0410	0.040		
		水和剤 (50%) 1,000 倍 100L/10a 散布	北海道 中央 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				5	29	0.010	0.009			0.0320	0.031		
				7	29	0.040	0.039			0.0680	0.066		
76	たまねぎ (露地) (鱗茎) 平成 5 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	北海道 北見 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				5	14	0.106	0.104			0.044	0.044		
				5	21	0.057	0.056			0.024	0.024		
				5	30	0.014	0.014			0.006	0.006		
			日植 防研 宮崎	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				5	14	0.250	0.248			0.219	0.212		
				5	21	0.168	0.167			0.145	0.144		
				5	30	0.091	0.090			0.056	0.056		
100	たまねぎ (露地) (鱗茎) 平成 15 年度	水和剤 (50%) 300 倍 25L/10a 散布	北海道 病害虫 防除所	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				5	21	0.02	0.02			0.01	0.01		
				5	28	0.01	0.01			0.01	0.01		
				5	42	0.01	0.01			<0.01	<0.01		
			日植 防研 牛久	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				5	21	0.03	0.03			0.04	0.04		
				5	28	0.03	0.03			0.03	0.03		
				5	42	0.05	0.05			0.03	0.02		
114	たまねぎ (露地) (鱗茎) 平成 18 年度	水和剤 (50%) 16 倍 1.6L/10a 無人ヘリコプター散布	北海道 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				5	14	0.03	0.03			0.03	0.03		
				5	21	0.04	0.04			0.03	0.03		
				5	28	0.02	0.02			0.01	0.01		
			長野 野菜 花き試	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				5	14	0.05	0.04			0.03	0.03		
				5	21	0.03	0.03			0.03	0.03		
				5	28	0.03	0.02			0.03	0.03		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
60	たまねぎ (露地) (鱗茎)	粒剤 (5%) 3kg/10a 散布	日植 防研 山梨	0	—	<0.003	<0.003	/	/	<0.005	<0.005		
				1	218	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
		6kg/10a 散布	1	218	<0.003	<0.003	<0.005	<0.005					
	昭和48年度	粒剤 (5%) 3kg/10a 散布	北海道 中央 農試	0	—	<0.003	<0.003	/	/	<0.005	<0.005		
				1	122	<0.003	<0.003			0.007	0.006		
				5kg/10a 散布	1	122	<0.003	<0.003	0.005	0.005			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
75	にんにく (露地) (鱗茎) 平成5年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 250L/10a 散布	青森 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.02	<0.02		
				2	7	0.047	0.046			0.05	0.05		
				2	14	0.015	0.014			0.03	0.03		
				2	21	0.012	0.012			0.03	0.03		
			香川 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.02	<0.02		
				2	7	0.032	0.032			0.04	0.04		
				2	14	0.009	0.008			0.02	0.02		
				2	21	0.013	0.013			0.02	0.02		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)									
						公的分析機関				社内分析機関					
						アセフェート				アセフェート					
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
103	みしまさいこ (露地) (根) 平成 17 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 200L/10a 散 布	高知 農技セ (越知町)	0	—	<0.02	<0.02								
				3	30	<0.02	<0.02								
				3	44	<0.02	<0.02								
				3	90	<0.02	<0.02								
			高知 農技セ (南国市)	0	—	<0.02	<0.02								
				3	30	<0.02	<0.02								
				3	44	<0.02	<0.02								
				3	90	<0.02	<0.02								
				高知県農業技術センター											

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
40	トマト (施設) (果実) 昭和 59 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	日植 防研 高知	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	1	0.088	0.088			0.759	0.757		
				2	3	0.205	0.196			0.580	0.574		
				2	7	0.352	0.345			0.657	0.654		
				3	1	0.597	0.572			1.03	1.02		
				3	3	0.703	0.680			0.892	0.885		
				3	7	0.893	0.858			0.755	0.738		
	水和剤 (50%) 1,000 倍 150L/10a 散布	鹿児島 農試	0	—	0.018	0.018			0.014	0.014			
			2	1	0.419	0.418			0.435	0.426			
			2	3	0.473	0.458			0.675	0.670			
			2	7	0.451	0.434			0.380	0.379			
			3	1	0.225	0.221			0.705	0.696			
			3	3	0.566	0.558			0.867	0.850			
			3	7	0.352	0.350			0.655	0.652			
39	トマト (施設) (果実) 昭和 50 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 300L/10a 散布	鳥取 野菜試	0	—	<0.008	<0.008			<0.005	<0.005		
				1	14	0.263	0.260			0.203	0.196		
				1	21	0.196	0.193			0.126	0.120		
				1	28	0.164	0.164			0.256	0.240		
				2	14	0.284	0.278			0.428	0.414		
				2	21	0.236	0.225			0.332	0.327		
				2	28	0.140	0.130			0.189	0.178		
	水和剤 (50%) 1,500 倍 300L/10a 散布	鯉淵 学園	0	—	<0.008	<0.008			<0.005	<0.005			
			1	14	0.236	0.234			0.340	0.328			
			1	21	0.192	0.182			0.245	0.235			
			1	28	0.116	0.115			0.150	0.149			
			2	14	0.560	0.560			0.764	0.729			
			2	21	0.352	0.348			0.576	0.572			
			2	28	0.156	0.150			0.256	0.250			
昭和 50 年度	トマト (露地) (果実)	水和剤 (50%) 1,500 倍 300L/10a 散布	鳥取 野菜試	0	—	<0.008	<0.008			<0.005	<0.005		
				1	14	0.116	0.113			0.142	0.141		
				1	21	0.108	0.106			0.143	0.138		
				1	28	0.036	0.035			0.045	0.044		
				2	14	0.214	0.201			0.221	0.214		
				2	21	0.094	0.093			0.190	0.182		
				2	28	0.060	0.058			0.065	0.064		
	水和剤 (50%) 1,500 倍 400L/10a 散布 1,500 倍 400~450L/10a 散布	鯉淵 学園	0	—	<0.008	<0.008			<0.005	<0.005			
			1	14	0.110	0.108			0.179	0.178			
			1	21	0.082	0.081			0.124	0.122			
			1	28	0.034	0.033			0.075	0.075			
			2	14	0.252	0.250			0.425	0.411			
			2	21	0.126	0.123			0.214	0.214			
			2	28	0.046	0.045			0.068	0.066			

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
41	トマト (施設) (果実) 昭和 52 年度	粒剤 (5%) 2g/株 散布	鯉淵 学園	0	—	<0.02	<0.02			<0.004	<0.004		
				3	1	<0.02	<0.02			0.020	0.020		
				3	3	0.12	0.11			0.117	0.116		
				3	7	0.02	0.02			0.075	0.072		
	粒剤 (5%) 2g/株 散布	長野 農大	0	—	<0.02	<0.02			<0.004	<0.004			
			3	1	0.16	0.15			0.012	0.011			
			3	3	0.38	0.37			0.243	0.237			
			3	7	0.02	0.02			0.023	0.021			
42	トマト (施設) (果実) 昭和 62 年度	粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理	福島 植防	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	81	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
		粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理	日植 防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	74	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
		粒剤 (5%) 6kg/10a 散布	福島 植防	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	1	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	3	0.010	0.009			<0.005	<0.005		
				1	7	0.023	0.022			<0.005	<0.005		
	2			1	0.156	0.154			0.020	0.020			
	2			3	0.103	0.100			0.028	0.028			
	粒剤 (5%) 6kg/10a 散布	日植 防研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			1	1	0.034	0.034			0.032	0.032			
			1	3	0.053	0.052			0.181	0.180			
			1	7	0.136	0.132			0.114	0.112			
			2	1	0.371	0.368			0.583	0.581			
			2	3	0.770	0.760			0.361	0.344			
2			7	0.269	0.268			0.379	0.379				
43			トマト (露地) (果実) 昭和 47 年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 散布	佐賀 農試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005
	2	10				0.123	0.120			0.2449	0.245		
	2	20				0.113	0.111			0.1812	0.179		
	2	30				0.096	0.090			0.0732	0.072		
	3	10				0.288	0.273			0.5080	0.498		
	3	20				0.173	0.156			0.2188	0.216		
	3	30				0.126	0.103			0.1365	0.136		
	粒剤 (5%) 2g/株 散布	神奈川 園試				0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005
			2	1	0.027	0.018			0.0162	0.015			
			2	11	0.036	0.036			0.0396	0.039			
			2	21	0.096	0.090			0.1242	0.123			
			3	1	0.404	0.394			0.4657	0.458			
			3	10	0.207	0.197			0.2050	0.200			
			3	20	0.101	0.096			0.1188	0.115			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
128 (GLP)	ピーマン (施設) (果実) 平成 25 年度	粒剤 (5%) 2g/株 定植時 植穴処理	日植 防研 高知	0	—	<0.01	<0.01						
				1	42	0.11	0.10						
				1	49	0.02	0.02						
				1	56	<0.01	<0.01						
			日植 防研 宮崎	0	—	<0.01	<0.01						
				1	42	0.78	0.76						
				1	49	0.23	0.22						
				1	56	0.08	0.08						
78	ピーマン (施設) (果実) 平成 6 年度	粒剤 (5%) 2g/株 株元散布	日植 防研 高知	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	1	0.171	0.168			0.217	0.216		
				3	3	0.191	0.186			0.201	0.200		
				3	7	0.204	0.195			0.258	0.257		
				3	14	0.177	0.176			0.240	0.236		
				3	14	0.163	0.162			0.249	0.248		
			日植 防研 宮崎	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	1	0.066	0.066			0.571	0.564		
				3	3	0.294	0.292			0.286	0.282		
				3	7	0.289	0.288			0.349	0.334		
				3	14	0.163	0.162			0.249	0.248		
				3	14	0.163	0.162			0.249	0.248		

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
44	なす (露地) (果実) 昭和 52 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 150~200L/10a 散布	日植 防研	0	—	<0.02	<0.02			<0.005	<0.005		
				3	3	1.28	1.22			1.42	1.42		
				3	7	0.68	0.68			0.548	0.544		
				3	14	0.08	0.08			0.105	0.104		
		水和剤 (50%) 1,000 倍 400L/10a 散布	長野 農大	0	—	<0.02	<0.02			<0.005	<0.005		
				3	3	2.20	2.15			2.24	2.16		
3	7	1.60	1.60			1.43	1.42						
3	14	0.44	0.43			0.606	0.588						
45	なす (施設) (果実) 昭和 52 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 300~400L/10a 散布	鯉淵 学園	0	—	<0.02	<0.02			<0.005	<0.005		
				3	3	1.92	1.86			2.28	2.18		
				3	7	1.80	1.78			1.55	1.52		
				3	14	1.04	1.00			0.551	0.528		
		水和剤 (50%) 1,000 倍 100L/10a 散布	長野 農大	0	—	<0.02	<0.02			<0.005	<0.005		
				3	3	2.40	2.32			3.06	2.99		
3	7	1.48	1.40			1.40	1.35						
3	14	0.36	0.34			0.444	0.418						
46	なす (施設) (果実) 昭和 62 年度	水和剤 (50%) 2,000 倍 150L/10a 散布	日植 防研 高知	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	1	0.723	0.706			0.821	0.799		
				2	3	0.822	0.810			0.722	0.708		
				2	7	0.765	0.752			0.622	0.618		
		水和剤 (50%) 2,000 倍 150L/10a 散布	日植 防研 宮崎	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	1	1.37	1.36			1.10	1.09		
				2	3	1.02	1.02			0.781	0.768		
				2	7	0.918	0.876			0.461	0.454		
		水和剤 (50%) 1,500 倍 150L/10a 散布	日植 防研 高知	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	1	2.00	1.97			1.67	1.64		
				2	3	1.62	1.60			1.40	1.38		
				2	7	1.34	1.32			1.12	1.09		
水和剤 (50%) 1,500 倍 150L/10a 散布	日植 防研 宮崎	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005				
		2	1	2.14	2.14			1.88	1.84				
		2	3	1.76	1.68			1.23	1.18				
		2	7	0.977	0.974			0.673	0.666				
47	なす (施設) (果実) 昭和 60 年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 株元散布	日植 防研 高知	0	—	0.006	0.006			0.007	0.007		
				2	1	0.030	0.028			0.018	0.018		
				2	3	0.031	0.030			0.028	0.026		
				2	7	0.032	0.032			0.030	0.030		
				3	1	0.068	0.064			0.044	0.044		
				3	3	0.046	0.044			0.043	0.040		
				3	7	0.040	0.040			0.042	0.042		
				3	14	0.013	0.013			0.019	0.018		
		粒剤 (5%) 6kg/10a 株元散布	鹿児島 農試	0	—	0.008	0.008			0.103	0.100		
				2	1	0.157	0.154			0.235	0.231		
				2	3	0.186	0.182			0.222	0.220		
				2	7	0.134	0.128			0.176	0.174		
				3	1	0.121	0.120			0.354	0.348		
				3	3	0.077	0.077			0.168	0.168		
3	7	0.062	0.060			0.129	0.124						

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
129 (GLP)	なす (施設) (果実) 平成 25 年度	粒剤 (5%) 2g/株 定植時 植穴処理	日植 防研 高知	0	—	<0.01	<0.01						
				1	71	<0.01	<0.01						
				1	78	<0.01	<0.01						
				1	85	<0.01	<0.01						
			日植 防研 宮崎	0	—	<0.01	<0.01						
				1	42	0.01	0.01						
				1	49	<0.01	<0.01						
				1	56	<0.01	<0.01						
48	なす (露地) (果実) 昭和 46 年度	粒剤 (5%) 1g/株 散布 2g/株 散布	日植 防研	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	83	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	115	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	83	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	115	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	115	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
		新潟 園試	粒剤 (5%) 1g/株 散布 2g/株 散布	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	34	<0.003	<0.003			0.0074	0.007		
				1	56	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				1	34	0.009	0.008			0.0110	0.011		
1	56	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005						

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート		アセフェート		アセフェート		アセフェート	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
14	きゅうり (施設) (果実) 昭和 52 年度	粒剤 (5%) 2g/株 散布	静岡 農試	0	—	<0.02	<0.02			<0.004	<0.004		
				3	1	0.16	0.15			0.134	0.131		
				3	3	0.30	0.30			0.276	0.269		
				3	7	0.20	0.20			0.154	0.154		
	昭和 52 年度	粒剤 (5%) 2g/株 散布	茨城 園試	0	—	<0.02	<0.02			<0.004	<0.004		
				3	1	0.06	0.06			0.051	0.048		
				3	3	0.40	0.39			0.417	0.413		
				3	7	0.68	0.65			0.691	0.669		
15	きゅうり (施設) (果実) 昭和 62 年度	粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理	鯉淵 学園	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
	昭和 62 年度	粒剤 (5%) 2g/株 植穴処理	長野 植防研	0	—	0.016	0.016			0.028	0.028		
				1	60	0.021	0.021			0.012	0.012		
	昭和 62 年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 散布	鯉淵 学園	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	1	0.073	0.070			0.081	0.078		
				1	3	0.544	0.524			0.661	0.653		
				1	7	0.747	0.746			0.784	0.778		
				2	1	0.223	0.214			0.070	0.070		
				2	3	0.865	0.863			0.509	0.501		
	昭和 62 年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 散布	長野 植防研	2	7	0.490	0.486			2.47	2.42		
				2	14	0.149	0.142			0.149	0.144		
0				—	0.016	0.016			0.028	0.028			
1				1	0.101	0.098			0.240	0.229			
1				3	0.480	0.467			0.740	0.730			
1				7	1.13	1.10			1.33	1.30			
16	きゅうり (露地) (果実) 昭和 47 年度	粒剤 (5%) 2g/株 散布	山形 園試	0	—	<0.003	<0.003			<0.005	<0.005		
				2	1	0.089	0.080			0.0544	0.054		
				2	10	0.061	0.060			0.1680	0.166		
				2	21	0.030	0.028			0.0345	0.034		
				3	1	0.082	0.078			0.0420	0.042		
				3	10	0.085	0.082			0.1380	0.137		
				3	20	0.010	0.008			0.0188	0.018		
				昭和 47 年度	粒剤 (5%) 2g/株 散布	千葉 農試	0	—	<0.003	<0.003			0.0290
	2	12	0.125				0.122			0.2045	0.202		
	2	23	0.089				0.082			0.0850	0.084		
	3	1	0.043				0.042			0.0592	0.059		
	3	12	0.355				0.328			0.3307	0.325		
	3	30	—				—			0.0200	0.020		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
80	オクラ (露地) (果実) 平成7年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 250L/10a 散布	日植 防研 高知	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				1	1	5.01	4.99			4.96	4.90		
				1	3	3.69	3.66			3.06	2.96		
				1	7	0.659	0.653			0.582	0.582		
				1	14	0.027	0.027			0.034	0.034		
			鹿児島 農試	0	—	0.012	0.012			<0.005	<0.005		
				1	1	3.11	3.08			2.78	2.69		
				1	3	2.05	2.01			1.71	1.70		
				1	7	0.505	0.491			0.395	0.394		
				1	14	0.021	0.021			0.023	0.022		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)								
						公的分析機関				社内分析機関				
						アセフェート				アセフェート				
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
81	しょうが (露地) (塊茎) 平成7年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 178~200L/10a 散布 75~100L/10a 散布	日植 防研 牛久	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
				2	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
				2	60	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
				2	90	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
		水和剤 (50%) 1,000 倍 250L/10a 散布	日植 防研 高知	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
				2	45	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
				2	60	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
				2	90	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
61	しょうが (露地) (塊茎) 昭和63年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 200L/10a 散布	長崎 総農試 (諫早)	0	—	<0.01	<0.01							
				3	30	<0.01	<0.01							
				長崎 総農試 (長崎)	0	—	<0.01	<0.01						
					3	30	<0.01	<0.01						
116	葉しょうが (露地) (可食部) 平成18年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 100L/10a 散布	愛知 農総試 西尾市	0	—	<0.01	<0.01							
				2	21	<0.01	<0.01							
				2	30	<0.01	<0.01							
				2	45	<0.01	<0.01							
		愛知 農総試 碧南市	0	—	<0.01	<0.01								
			2	21	<0.01	<0.01								
			2	30	<0.01	<0.01								
			2	45	<0.01	<0.01								
			2	60	<0.01	<0.01								

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
56	だいず (露地) (生まめ) 昭和56年度	水和剤 (50%) 1,000倍 100L/10a 散布	千葉 原種農	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	20	0.046	0.046			0.067	0.067		
				2	27	0.013	0.012			0.030	0.030		
				3	20	0.105	0.097			0.149	0.146		
				3	27	0.014	0.013			0.030	0.029		
			熊本 農試 園芸	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	14	0.046	0.043			0.053	0.052		
				2	21	0.015	0.015			0.022	0.022		
				3	14	0.065	0.060			0.047	0.046		
				3	21	<0.005	<0.005			0.005	<0.005		
	だいず (露地) (さや) 昭和56年度	水和剤 (50%) 1,000倍 100L/10a 散布	千葉 原種農	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	20	0.057	0.056			0.070	0.067		
				2	27	0.041	0.040			0.040	0.038		
				3	20	0.134	0.133			0.149	0.140		
				3	27	0.038	0.036			0.053	0.050		
熊本 農試 園芸			0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			2	14	0.125	0.120			0.089	0.087			
			2	21	0.062	0.062			0.064	0.063			
			3	14	0.132	0.127			0.107	0.102			
			3	21	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
だいず (露地) (えだまめ ホール) 昭和56年度	水和剤 (50%) 1,000倍 100L/10a 散布	千葉 原種農	0	—		<0.005				<0.005			
			2	20		0.051				0.067			
			2	27		0.024				0.033			
			3	20		0.114				0.143			
			3	27		0.023				0.038			
		熊本 農試 園芸	0	—		<0.005				<0.005			
			2	14		0.078				0.068			
			2	21		0.036				0.040			
			3	14		0.091				0.072			
			3	21		<0.005				<0.005			
97	だいず (露地) (えだまめ) 平成16年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 株元処理	北海道 植防 (音更)	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				3	21	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				3	28	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				3	42	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
			埼玉 植防	3	21	0.03	0.03			0.04	0.04		
				3	28	0.03	0.03			0.05	0.04		
				3	42	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
84	れんこん (露地) (塊茎) 平成 11 年度	粒剤 (5%) 6kg/10a 散布	茨城 農総セ 園芸研	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				3	14	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				3	21	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				3	28	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
			千葉 農試	0	—	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				3	14	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				3	21	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		
				3	28	<0.01	<0.01			<0.005	<0.005		

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
49	ぶどう (露地・有袋) (果実) 昭和50年度	水和剤 (50%) 1,000倍 250L/10a 散布 (キャンベルアーリー)	福岡園試	0	—	<0.004	<0.004			<0.005	<0.005		
				1	60	0.660	0.650			0.691	0.672		
				2	60	0.660	0.650			0.808	0.806		
	昭和50年度	水和剤 (50%) 1,000倍 200L/10a 散布 (材・マスカット)	岡山農試	0	—	<0.004	<0.004			<0.005	<0.005		
				1	60	<0.004	<0.004			<0.005	<0.005		
				2	60	0.065	0.063			0.050	0.049		
130 (GLP)	ぶどう (施設) (果実) 平成24年度	水和剤 (50%) 1,500倍 300L/10a 散布	長野植防須坂	0	—	<0.01	<0.01						
				1	30	0.86	0.81						
				1	45	0.99	0.98						
				1	59	0.31	0.31						
	平成24年度	水和剤 (50%) 1,500倍 302L/10a 散布	日植防山梨	0	—	<0.01	<0.01						
				1	30	0.78	0.76						
				1	44	0.55	0.54						
				1	59	0.11	0.11						
131	ぶどう (施設・無袋) (果実(果梗を除く)) 平成19年度	水和剤 (50%) 1,500倍 400L/10a 散布 (デラウェア)	石川植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				2	30	1.11	1.10			1.78	1.74		
				2	45	0.55	0.54			1.10	1.09		
				2	59	0.56	0.54			0.30	0.30		
				2	59	0.56	0.54			0.30	0.30		
50	ぶどう (露地・無袋) (果実(果梗を除く)) 平成元年度	水和剤 (50%) 1,500倍 300L/10a 散布 (巨峰)	秋田果試天王	0	—	0.024	0.023			0.011	0.011		
				2	30	1.53	1.52			1.46	1.46		
				2	45	1.07	1.03			1.04	1.03		
				2	60	0.455	0.442			0.378	0.369		
	平成元年度	水和剤 (50%) 1,500倍 300L/10a 散布 (巨峰)	長野中信農試	0	—	0.015	0.014			0.028	0.026		
				2	30	1.58	1.58			2.00	2.00		
				2	45	1.91	1.84			1.90	1.90		
				2	60	0.749	0.742			1.07	1.06		
51	ぶどう (露地・無袋) (果実(果梗を除く)) 平成2年度	水和剤 (50%) 1,500倍 300L/10a 散布 (ハニレット)	岩手園試大迫	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	54	0.509	0.500			0.398	0.396		
				2	68	0.126	0.124			0.122	0.121		
		2000倍 300L/10a 散布 (ハニレット)	岩手園試大迫	2	54	0.249	0.236			0.248	0.241		
				2	68	0.115	0.110			0.075	0.072		
				2	68	0.115	0.110			0.075	0.072		
		水和剤 (50%) 2,000倍 250L/10a 散布 (ピオーネ)	岡山農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	60	0.281	0.271			0.373	0.372		
				2	80	—	—			0.102	0.099		
		2000倍 250L/10a 散布 (ピオーネ)	岡山農試	2	90	0.157	0.150			0.131	0.130		
				2	60	0.484	0.472			0.337	0.330		
				2	80	—	—			0.110	0.104		
2	90	0.145	0.138			0.108	0.108						

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						公的分析機関				社内分析機関				
						アセフェート				アセフェート				
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
52	ぶどう (施設) (果実) 昭和 56 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 300L/10a 散布 (マスカット・オブ・ アレキサンドリア)	岡山 農試	0	—	0.007	0.007							
				1	21	1.84	1.77							
				1	28	1.1	1.05							
				2	21	1.5	1.43							
				3	39	1.21	1.12							
				3	60	1.06	1.06							
				3	80	0.91	0.89							
		0	—	<0.007	<0.007									
		1	21	2.20	2.07									
		1	28	1.76	1.73									
		2	21	3.04	3.04									
		3	40	4.72	4.52									
		3	60	2.42	2.30									
		3	80	1.38	1.38									

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)										
						公的分析機関				社内分析機関						
						アセフェート				アセフェート						
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
70	かき (露地) (果実) 平成5年度	水和剤 (50%) 1,000倍 500L/10a 散布	岐阜 農総研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				3	29	0.326	0.324			0.298	0.297					
				3	44	0.221	0.220			0.286	0.282					
64	かき (露地) (果実) 平成4年度	水和剤 (50%) 1,000倍 500L/10a 散布	山形 砂丘地 農試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005					
				3	46	0.377	0.376			0.142	0.140					
				3	60	0.216	0.210			0.165	0.164					
				3	90	0.053	0.052			0.055	0.054					
				水和剤 (50%) 1,000倍 500L/10a 散布	岐阜 農総研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
						3	60	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
3	88	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005									
11	かき (露地) (果実) ※果皮、種子 を除く 昭和58年度	水和剤 (50%) 1,000倍 500L/10a 散布	愛媛 果試	0	—	<0.08	<0.08									
				1	30	0.27	0.26									
				1	45	0.34	0.33									
				2	30	0.39	0.38									
				2	45	0.50	0.48									
				3	30	0.67	0.67									
				3	45	0.60	0.59									
12	かき (露地) (果実) 昭和61年度	水和剤 (50%) 1,000倍 500L/10a 散布	奈良 農試	0	—					<0.005	<0.005					
				1	154					<0.005	<0.005					
				1	182					<0.005	<0.005					
				2	154					<0.005	<0.005					
13	かき (露地・無袋) (果実) 昭和62年度	水和剤 (50%) 1,000倍 500~600L/10a 散布 800~900L/10a 散布	和歌山 果試	0	—					<0.005	<0.005					
				1	72					<0.005	<0.005					
				2	72					0.014	0.014					
				3	132					<0.005	<0.005					
132 (GLP)	かき (露地) (果実) 平成24年度	水和剤 (50%) 1,500倍 450L/10a 散布	日植防 山梨	0	—	<0.01	<0.01									
				2	28	0.03	0.03									
				2	42	0.03	0.03									
				2	59	<0.01	<0.01									
						和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01						
							2	28	0.19	0.18						
							2	42	0.11	0.11						
							2	58	0.04	0.04						

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
9	かき (露地・無袋) (果実) ※へた及び 種子を除く 平成元年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 300L/10a 散布	新潟 園試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				2	45	0.064	0.063			0.036	0.034		
				2	60	0.033	0.032			0.043	0.042		
				3	45	0.033	0.032			0.032	0.030		
				3	60	0.018	0.017			0.030	0.030		
	水和剤 (50%) 1,500 倍 300L/10a 散布	山口 萩柑試	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			
			2	45	0.053	0.051			0.122	0.122			
			2	60	0.036	0.034			0.029	0.028			
			3	45	0.515	0.505			0.366	0.354			
			3	60	0.176	0.167			0.281	0.274			
10	かき (露地・無袋) (果肉) ※果皮及び 種子を除く 昭和 56 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 500L/10a 散布	岡山 農試	0	—	<0.01	<0.01						
				3	155	<0.01	<0.01						
				3	115	<0.01	<0.01						
				3	63	0.06	0.06						
	水和剤 (50%) 1,500 倍 500L/10a 散布	岡山県 浅口郡	0	—	<0.01	<0.01							
			3	181	<0.01	<0.01							
			3	141	<0.01	<0.01							
			3	63	0.07	0.07							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
71	いちじく (露地・無袋) (果実) 平成5年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a 散布	愛知 農総試 園芸研	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	21	0.166	0.166			0.080	0.078		
				3	30	0.065	0.064			0.061	0.060		
				3	45	0.032	0.031			0.021	0.020		
			大阪 農林 技術セ	0	—	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005		
				3	21	1.28	1.25			1.21	1.21		
				3	30	0.392	0.390			0.310	0.297		
				3	45	0.142	0.142			0.123	0.116		
96	いちじく (露地・無袋) (果実) 平成16年度	水和剤 (50%) 2,000 倍 300L/10a 散布	福島 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	30	0.17	0.16			0.19	0.18		
				1	44	0.01	0.01			0.01	0.01		
				1	60	0.01	0.01			0.01	0.01		
			愛知 農総試	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		
				1	30	0.06	0.06			0.06	0.06		
				1	45	0.01	0.01			0.02	0.02		
				1	60	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01		

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
133	茶 (露地) (荒茶) 平成 21 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 400L/10a 散布	福岡 農総試 八女	0	—	<0.05	<0.05			<0.05	<0.05		
				1	45	<0.05	<0.05			<0.05	<0.05		
				1	60	<0.05	<0.05			<0.05	<0.05		
				1	74	<0.05	<0.05			<0.05	<0.05		
	茶 (露地) (浸出液) 平成 21 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 400L/10a 散布	福岡 農総試 八女	0	—	<0.05	<0.05			<0.05	<0.05		
				1	45	<0.05	<0.05			<0.05	<0.05		
				1	60	<0.05	<0.05			<0.05	<0.05		
				1	74	<0.05	<0.05			<0.05	<0.05		
茶 (露地) (荒茶) 昭和 63 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 400L/10a 散布	京都 茶研	0	—	<0.02	<0.02			<0.02	<0.02			
			1	21	7.49	7.21			7.52	7.28			
			2	14	11.2	11.2			12.2	12.0			
			2	21	11.6	11.4			11.8	11.7			
54	茶 (露地) (荒茶) 昭和 63 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a 散布	宮崎 農総試	0	—	<0.02	<0.02			<0.02	<0.02		
				1	22	3.41	3.38			3.98	3.94		
				2	14	31.3	31.2			33.8	31.9		
				2	22	6.54	6.37			5.83	5.70		
	茶 (露地) (浸出液) 昭和 63 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a 散布	京都 茶研	0	—	<0.02	<0.02			<0.02	<0.02		
				1	21	6.77	6.71			6.92	6.51		
				2	14	10.9	10.8			11.1	10.8		
				2	21	10.4	10.1			10.6	10.2		
茶 (露地) (浸出液) 昭和 63 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a 散布	宮崎 農総試	0	—	<0.02	<0.02			<0.02	<0.02			
			1	22	3.46	3.32			3.84	3.84			
			2	14	29.4	28.8			29.9	28.8			
			2	22	6.01	5.92			5.26	5.24			
			2	28	0.86	0.84			0.74	0.68			

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						公的分析機関				社内分析機関			
						アセフェート				アセフェート			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
53	茶 (露地) (荒茶) 昭和 50 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散 布	福岡 農試 茶業	0	—	<0.1	<0.1			<0.05	<0.05		
				1	14	10.5	10.0			11.30	10.10		
				1	21	1.4	1.3			1.82	1.66		
				1	28	0.9	0.8			1.04	0.98		
				2	21	1.9	1.8			2.55	2.30		
				2	28	1.4	1.3			1.11	1.02		
			静岡 茶試	0	—	<0.1	<0.1			<0.05	<0.05		
				1	14	1.5	1.4			1.32	1.31		
				1	21	2.6	2.4			1.94	1.84		
				1	28	0.3	0.3			0.34	0.28		
	茶 (露地) (浸出液) 昭和 50 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 200L/10a 散 布	福岡 農試 茶業	0	—	<0.2	<0.2			<0.1	<0.1		
				1	14	8.3	8.0			8.4	8.4		
				1	21	1.1	1.0			1.5	1.4		
				1	28	0.5	0.5			0.8	0.7		
2				21	1.6	1.6			1.9	1.8			
2				28	1.1	1.0			0.7	0.7			
静岡 茶試			0	—	<0.2	<0.2			<0.1	<0.1			
			1	14	0.9	0.8			1.1	1.0			
				1	21	1.8	1.7			1.3	1.2		
				1	28	0.2	0.2			0.2	0.2		
				2	21	1.9	1.8			1.9	1.8		
				2	28	0.5	0.5			0.5	0.4		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアリスタ ライフサイエンス株式会社にある。

目録 番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)									
						公的分析機関				社内分析機関					
						アセフェート				アセフェート					
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
98	さんしょう (露地) (果実) 平成 15 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 300L/10a 散 布	和歌山 果樹試	0	—	<0.02	<0.02								
				1	14	0.22	0.22								
				1	21	0.17	0.16								
				1	30	<0.02	<0.02								
				1	46	<0.02	<0.02								
				1	60	<0.02	<0.02								
	さんしょう (露地) (果実) 平成 16 年度			和歌山 果樹試	0	—	<0.02	<0.02							
					1	14	0.14	0.14							
					1	21	0.02	0.02							
					1	30	<0.02	<0.02							

目録番号	作物名 (栽培形態) (分析部位) 試験年度	剤型 (有効成分量) 使用濃度 及び量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)									
						公的分析機関				社内分析機関					
						アセフェート				アセフェート					
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
99	だいおう (露地) (根) 平成 16 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a 散布	北海道 上川 農試 (美瑛町)	0	—										
				3	228					<0.01	<0.01				
				3	242					<0.01	<0.01				
				3	256					<0.01	<0.01				
			北海道 上川 農試 (美深町)	0	—										
				3	231					<0.01	<0.01				
				3	245					<0.01	<0.01				
				3	259					<0.01	<0.01				
109	薬用になじん (露地) (根茎) 平成 17 年度	水和剤 (50%) 1,500 倍 150L/10a 散布	福島 農試 会津坂 下町	0	—										
				5	188					<0.005	<0.005				
			福島 農試 新鶴村	0	—										
				5	188					<0.005	<0.005				
111	ソルガム (露地) (地上部) 平成 16 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 200L/10a 散布	鯉淵 学園	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	28	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	42	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	56	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	84	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	84	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
			石川 植防	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	28	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	42	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	56	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	84	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	85	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
112	まめ科牧草 (アルファ (乾 燥子実) アルファ 白クローバー) (露地) (茎葉) 平成 16 年度	水和剤 (50%) 1,000 倍 200L/10a 散布	日植 防研 (アルファ アルファ)	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	28	0.38	0.38			0.19	0.18				
				3	42	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	56	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	84	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	84	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
			静岡 植防 (白 クローバー)	0	—	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	28	<0.01	<0.01			0.01	0.01				
				3	42	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	56	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	84	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				
				3	84	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01				